業務委託仕様書

1	件名	荒川区立日暮里地域活性化施設施	設管理業務	委託
2	位置(履行場所)	荒川区東日暮里六丁目17番6号 荒川区立日暮里地域活性化施設		
3	建物概要	構造鉄骨造地上5階建て敷地面積723.65㎡延床面積2,019.39㎡		
4	仕様内容	(1) 総括		2
		(2) 受付業務		6
		(3) コンシェルジュ業務		7
		(4) 巡回警備・施設運営補助業務		8
		(5) 清掃業務		9
		(6) 設備保守点検等業務		11

総括事項

本仕様書は、荒川区立日暮里地域活性化施設(以下「施設」という。)の施設管理業務を構成する各業務に共通する事項を定めたものであり、それぞれの業務に固有な事項は業務別仕様書に定める。

1 委託業務内容

- (1) 受付業務
- (2) コンシェルジュ業務
- (3) 巡回警備·施設運営補助業務
- (4) 清掃業務
- (5) 設備保守点檢等業務

2 履行期間

令和8年4月1日から令和11年3月31日まで

3 適用期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

4 持ち込み備品及び消耗品リストの提出

受託者は、持ち込み備品及び消耗品のリストを提出し、区の承諾を得るものとする。なお、 提出済みのリストの内容に変更があった場合は、速やかに修正し提出すること。

5 総括責任者の選任等

- (1) 受託者は、受託業務を円滑に執行するために、十分な経験と知識を有し、全ての委託業務について総括的な責任を有するもの(以下「総括責任者」という。)及び各業務の現場における実施責任者(以下「業務責任者」という。)を1名以上選任し、区に届け出なければならない。なお、総括責任者は、業務責任者を兼ねることができるが、業務責任者は他の業務責任者を兼ねることはできないものとする。
- (2) 総括責任者は、その遂行上常に区との連携を密にして必要な連絡を行うとともに、業務責任者及び業務従事者を統括すること。
- (3) 業務責任者は、副総括責任者を兼ねることとし、契約内容の履行管理、業務従事者の業務 に関する監督、各業務間の連絡調整等を実施すること。
- (4) 業務履行に当たり、開館日は原則として1名以上の総括責任者又は副総括責任者が施設内 に従事し、業務間の調整を図る等、業務の円滑な運営に努めること。

6 業務従事者の指導教育

(1) 受託業者は、当施設の管理運営に支障を来すことのないよう、本委託業務を確実かつ良好

に履行するために十分な数の業務従事者を配置するとともに、受託業務上必要な教育訓練等を実施して、円滑な業務の確保を図ること。

(2) 受託者は、従事者に対して使用者として法律に規定されたすべての義務を負うものとする。

7 業務従事者の明確化

- (1) 受託者は、受託業務の実施に当たって、業務従事者リストを区に提出すること。
- (2) 受託者は、各受託業務の実施に当たって、1名以上を専属者として常駐させること。 なお、各月の勤務シフト表を、区に提出すること。
- (3) 受託者は、業務従事者に業務をするに適した統一された服装及び名札(以下「制服」という。)を着用させなければならない。受託者は、制服について事前に区の了承を得ることとし、制服に係る費用は受託者の負担とする。

8 業務履行報告書の提出

受託者は、各業務実施にともなう業務記録を作成し、現場に保管するとともに、区の指示が あったときはすみやかに提出しなければならない。

また、日々の業務が終了したときは、速やかに区に報告するとともに、定期的に実施する作業については、作業完了の都度、完了報告書を提出しなければならない。

業務報告書、日誌、記録等報告書の様式は、区と協議のうえ定めるものとし、作成費用は、受託者の負担とする。

- 9 本委託業務に付随する業務と必要な機器等の負担区分
 - (1) 次の小破修理等については、本委託業務に含むものとする。
 - アドア、建具等の軽易な補修及びタイルの部分張り替え等床材の軽易な修繕
 - イ 什器、備品等の移動
 - ウ おもてなしスペース、多目的スペース、ホワイエ・オープンスペース等の机・椅子の 配置替え及び整理整頓
 - エ 大階段造作家具(椅子・展示台)の設置及び片付け
 - 才 敷地内の清掃
 - (2) 本委託業務を遂行するために必要な機械、材料、消耗品は受託者の負担とする。 ただし、次のものは区の負担とする。
 - ア 本委託業務遂行に要する光熱水費、資材置き場及び電話機等 水、電力の使用にあたっては必要最小限に止めること。
 - イ 前記小破修理等に要する材料、消耗品(タイル、接着剤等)
 - (3) 本委託業務の履行に従事する者の控室は、区が無償で貸与する。

10 改善義務

区は、委託業務に関して調査し又は報告を求め、必要のある時は改善を求めることができる

ものとする。

この場合、受託者は、直ちにこれに応じてその結果を報告しなければならない。

11 損害予防措置

(1) 危害及び損害予防措置

受託者は、業務の実施にあたっては、区又は第三者に危害又は損害を与えないように万全 の措置をとらなければならない。

また、危害又は損害を与えた場合、若しくはそのおそれのある場合には、総括責任者又は副総括責任者は、直ちに区に報告すること。

(2) 破壊箇所に対する措置

業務従事者は、業務中に発見した破損、故障箇所について適切な判断を下し材料部品の交換修理又は応急措置を講じ、応急措置ができない場合には適切な予防措置をとらなければならない。

この場合、措置状況をすべて記録するとともに区に報告しなければならない。

12 その他の一般的事項

- (1) 受託者及び従事者は、業務上知りえた区行政に係わる情報を第三者にもらしてはならない。
- (2) 受託者及び従事者は、業務上知りえた個人情報の取り扱いに当たっては、個人情報保護に係る法令を遵守しなければならない。
- (3) 受託者は、区が定める施設の消防計画に沿って自衛消防隊の役割を担うほか、災害発生時における帰宅困難者等を一時的に受け入れるための一時滞在施設を運営する場合等は、区に協力するものとする。
- (4) 受託者は、業務履行上区又は第三者に損害を与えた場合は、賠償の責を負うものとする。
- (5) 受託者は、職務遂行のため委託者から鍵(磁気カードを含む)の預託を受けた場合は、預り 証を発行し、責任をもってこれを保管・管理するものとする。
- (6) 受託者は、本委託契約が終了した際には、施設の管理に支障がないよう、業務に関する情報を、速やかに本業務を新たに受託する者へ引き継ぐと共に、委託者から、本業務を新たに受託する者への引継等について協力の申し出があったときは、これに協力しなければならない。
- (7) 受託者は、「障害者の雇用の促進等に関する法律」を遵守すること。
- (8) 受託者は、業務の履行にあたっては安全管理を徹底し、事故等が起こることがないように 最大限努めること。特に高所作業などの危険性が高い作業は、特段の注意を払い実施する こと。
- (9) 受託者は、業務が円滑に遂行できるよう、施設に関連する他の事業者等と良好な関係を築くよう努め、業務履行にあたっては必要な調整を行うものとする。
- (10) 受託者は、区から施設に関する会議等への出席を求められた際には、出席するよう努めなければならない。

(11) 本仕様書に疑義が生じたとき、または定めのない事項については、区と受託者とで協議の うえ決定する。ただし、信義則上受託者が行うべきものについては、受託者が自らの負担 において実施することとする。

13 契約金額の協議

- (1) 契約条項の規定に基づき、各年度の予算の範囲において、区が別途示す当該年度の業務の 仕様書等により協議する。ただし、区が別途示す当該年度の業務の仕様書等の内容が、当 該年度の前年度の仕様書等と変更がない場合は、原則として前年度の契約金額と同額とす る。
- (2) 次年度の契約金額の協議については、当該年度の末日までに行うこととする。

(業務別仕様書1)受付業務委託仕様書

1 業務日及び業務時間

(1) 業務日

年末年始(12月29日から1月3日まで)及び臨時休館日(特別清掃・設備点検等5日 程度)を除く日

(2) 業務時間

午前8時30分から午後10時00分まで

2 業務の内容

施設に常駐し、電話応対及び施設への来館者に対する次の業務を行う。

- (1) 問い合わせ対応
- (2) 施設の案内
- (3) 施設の使用の受付(使用申込の受付、使用の際の留意事項及び設備等の説明、使用料金の 受領及び使用承認書の発行等)及び施設主催事業への参加申込等の受付の補助
- (4) 施設の使用に関する手続き(鍵の貸出・返却受付、施設使用のための準備作業、設備の使用方法の案内、鍵返還の確認及び使用後の状況確認等)
- (5) 施設の使用予定の整理及び一覧表作成
- (6) 施設の管理状況の記録作成
- (7) おもてなしスペース、多目的スペース等のレイアウト変更の補助
- (8) 施設の使用のための準備作業の補助
- (9) 施設に来館した高齢者、障害者等への介助
- (10) 施設での実施イベント等の案内及び施設主催事業の受付
- (11) 日暮里繊維街及び日暮里地域の観光情報の案内
- (12) パンフレット等の整理及び補充
- (13) 開館業務及び閉館業務の補助
- (14) 空調設備調整の補助
- (15) 事務作業の補助 (軽易な作業に限る)
- (16) その他業務を行ううえで必要な事項

- (1) 従事者は、来館者に明るく、親切、丁寧に対応し、相手に不快の念を与えないように注意しなければならない。
- (2) 本業務の業務責任者には、受付業務の経験を1年以上有する者をあてること。
- (3) 従事者は勤務時間中制服を着用するものとする。

(業務別仕様書2) コンシェルジュ業務委託仕様書

1 業務日及び業務時間

(1) 業務日

年末年始(12月29日から1月3日まで)及び臨時休館日(特別清掃・設備点検等5日 程度)を除く日

(2) 業務時間

午前10時00分から午後6時00分まで

2 業務の内容

施設に常駐し、施設への来館者に対して次の業務を行う。

- (1) 施設の案内
- (2) 施設での実施イベント等の案内及び施設主催事業の運営補助
- (3) 日暮里繊維街・日暮里地域等の観光情報の収集・案内及びSNS等による情報発信
- (4) パンフレット等の整理及び補充
- (5) 施設に来館した高齢者、障害者等への介助
- (6) おもてなしスペース、多目的スペース等のレイアウト変更等の補助
- (7) その他業務を行ううえで必要な事項

- (1) 従事者は、来館者に明るく、親切、丁寧に対応し、相手に不快の念を与えないように注意しなければならない。
- (2) 本業務の業務責任者並びに従事者の半分以上は、類似業務の経験を1年以上有する者をあてること。
- (3) 従事者の半分以上は、英語の日常会話が可能な者を配置すること。
- (4) 従事者は勤務時間中制服を着用するものとする。

(業務別仕様書3) 巡回警備·施設運営補助業務委託仕様書

1 業務日及び業務時間

(1) 業務日

年末年始(12月29日から1月3日まで)を除く日

(2) 業務時間

午前8時00分から午後10時30分まで

2 業務の内容

施設に常駐し、定期的に施設内及び構内を巡回し、次の業務を行う。

- (1) 施設内及び構内における禁止行為の制止
- (2) 火災、盗難等の事故防止及び初期処理
- (3) 駐車場、駐輪場の管理及び違法駐車等の取締
- (4) おもてなしスペース・大階段・2階オープンスペース・ホワイエ・多目的スペース・控 室・倉庫等における附帯設備の整理及びレイアウト変更及び補助者への指示
- (5) おもてなしスペースのスライディングウオール開閉作業
- (6) 大階段造作家具(椅子・展示台)の設置及び片付け
- (7) ホワイエ・多目的スペースの可動式間仕切り移動作業
- (8) 施設の使用のための準備作業
- (9) 施設に来館した高齢者、障害者等への介助
- (10) 空調・換気設備の調整
- (11) 開館時・閉館時の館内の見回り、安全確認、照明・空調・換気設備管理、解錠・施錠管理、機械警備セット・解除操作
- (12) 施設内中央監視装置により設備機器類の異常を確認した場合の、専門技術要員が到着する までの間の、事故等の拡大の予防のための応急措置
- (13) 施設の案内
- (14) 施設での実施イベント等の案内及び施設主催事業の運営補助
- (15) その他保安上必要な事項

- (1) 警備員の巡回時間、巡回経路、回数等の細部については、区の指示を受けること。
- (2) 本業務の業務責任者並びに従事者の半分以上は、施設警備業務の経験を1年以上有する者をあてること。
- (3) 警備員には、施設内総合盤(火災受信機盤、非常放送設備等の設備機器を設置)の操作及び異常が生じたときの応急措置等についての基本的教育を受け、対応が可能な者をあてるものとする。
- (4) 従事者は勤務時間中、制服を着用し、巡回及び立哨の際は、制帽を着用するものとする。

(業務別仕様書4) 清掃業務委託仕様書

1 清掃業務の基本

受託者は清掃業務を遂行するうえで、特に次の事項に留意して業務を行い、受託施設の環境 の向上、良好な衛生状態の維持に努めるものとする。

- (1) 各材質の特性を充分に把握し最も適した清掃方法及び清掃資材で清掃すること。
- (2) 作業は静粛に第三者に影響を及ぼさないように行い、作業で移動した什器や備品等は定位置に戻しておくこと。
- (3) 衛生用品の補給は、随時巡回し適時に補給しておくこと。
- (4) 作業は、丁寧かつ迅速に行い施設の品位を保つように努力すること。
- (5) 建物の周囲においても、随時巡回し清掃を実施すること。
- (6) 施設の鍵の取り扱いには充分に注意し、立ち入りに関しては必要最小限度の時間で行い、 開錠、施錠は確実に行うこと。
- (7) ごみ置き場の管理は、たえず清潔にするとともに悪臭の発生を未然に防ぐべく整理整頓しておくこと。

2 清掃業務の対象範囲

清掃業務の対象範囲等は、別紙1「清掃実施基準表」、 別紙2「施設床仕様別面積一覧表」、「衛生陶器類一覧表」によるものとする。

3 日常清掃の業務内容

(1) 業務日及び業務時間

ア 業務日

年末年始(12月29日から1月3日まで)及び臨時休館日(特別清掃・設備点検等5日程度)を除く日

イ 業務時間

以下の場所については、指定時間内に清掃を完了させること。但し、区職員の在室等により清掃を完了させることができない場合は、指定時間外に清掃を行うこと。

- 1 階部分 ・日暮里区民事務所、風除室(日暮里区民事務所側)、区民事務所執務室、給 湯室:午後5時30分から午後10時まで
 - ・共用部 (階段を除く):午前8時30分まで
- 2階部分・事務室:午後5時30分から午後10時まで
 - ・休憩室、和室、更衣室:午後3時00分から午後5時00分まで
 - ・管理事務室、共用部分(階段を除く):午前8時30分まで
- 3階部分 午前9時00分まで(階段、テラスを除く)
- 5階部分 ・IM 事務室、打ち合わせコーナー、シェアオフィス:午前8時30分まで
 - ・その他の部分:午前10時まで
- ウ 上記イに掲げるほか、開館時間内において新たに生じる清掃及び衛生用消耗品供給

などの作業は、必要に応じ適宜対応するものとする。

(2) 作業方法

別紙3「標準作業書(1)」による。

ただし、標準作業書の内容に関わらず、区から清掃の指示があった場合には、速やかに該 当箇所の清掃を行うこと。

4 特別清掃の業務内容

(1) 業務日及び業務時間

ア 業務日

2回 (6か月毎に1回)

特別清掃は、原則として日曜日に実施することとする。作業日は、原則として休館日とし、業務開始にあたり事前に清掃区分、実施予定日等を記入した年間実施計画を提出することとする。なお、当該実施計画は、区との協議のうえ作成すること。

イ 業務時間

事前の打合せにより決定する。

(2) 作業方法

別紙4「標準作業書(2)」に基づき、協議により定める。

- (1) 本業務の業務責任者並びに日常清掃の作業員の半分以上は、清掃業務の経験を1年以上有する者をあてること。
- (2) 日常清掃業務への作業に使用する資材は、品質優良なものを使用すること。なお、トイレットペーパーは必ず再生紙使用のものとし、水石けん、ワックス、洗剤については無りんのものを使用すること。
- (3) 従事者は勤務時間中、制服を着用するものとする。

(業務別仕様書5) 設備保守点検等業務委託仕様書

施設における電気設備、空調換気設備、給排水衛生設備等、施設に付帯する諸設備について、 必要な技術及び資格を有する業務従事者(以下「従事者」という。)を派遣し、機器等の保守・ 点検を実施するほか、空気環境測定及び水質検査等の、施設の保守管理に係る業務を実施する。 なお、業務実施日は原則として日曜日とし、区と協議のうえ定める。

1 業務の内容

(1) 法定の設備保守点検

法定点検については、それぞれ関係法令の内容に準拠した回数及び内容の保守点検作業を 実施する。なお、点検実施者について関係法令に定めがある場合においては、当該規定に合 致する者を従事者とすること。

ア 空調・換気設備、飲料用冷水器点検

① 関係法令

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)

② 回数

4回(定期点検が必要な機器は、うち1回を定期点検とする)

③ 実施内容

機器表面及び空調・換気設備内部のフィルター等の埃・汚れの状態を確認し、必要に 応じて除去・清掃(1年に2回以上実施)したうえで、機器及び部品が正しく取り付 けられているか確認を行った後、点検を実施する。

- ・簡易点検:機器の正常稼動を確認するための点検及び必要に応じて部品の交換を行い、報告書を作成すること(3か月ごとに1回実施)。
- ・定期点検:対象機器については、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)に適合した点検及び報告書を作成すること(1年に1回実施)。
- ④ 点検従事者の資格等

業務従事者は、以下の条件に合致するものでなければならない。

- ・冷媒フロン類取扱技術
- ・「管理者判断基準」(平成 26 年 12 月 10 日経済産業省・環境省告示第 13 号) における、一定の資格等を有し、かつ、点検に必要となる知識等の習得を伴う講習を受講した者
- ・「管理者判断基準」における、十分な実務経験を有し、かつ、点検に必要となる知識 等の習得を伴う講習を受講した者

イ 消防設備点検

① 関係法令

消防法

② 回数

2回(機器点検1回・総合点検1回) ※6か月毎に1回実施

③ 実施内容

昭和50年消防庁告示第14号に定める点検基準に準拠した点検を実施するとともに、区から提供する様式に基づき、消防計画における自主点検を実施する。なお、点検等の結果、点検基準を満たさないものについては、基準に沿うように調整を行う。

④ 点検従事者の資格等

消防設備士、消防設備点検資格者

- ウ 建築設備・防火設備法定点検
 - ① 関係法令 建築基準法
 - ② 回数

1回

③ 実施内容

(ア) 建築設備

一般財団法人日本建築設備・昇降機センターの「建築設備定期検査業務基準書(2016年版)」に準拠して実施し、点検報告書(点検台帳・点検評価・写真・資料を含む。)と電子データ(CD-R)を各3部提出する。

(イ) 防火設備

一般財団法人日本建築防災協会の「防火設備定期検査業務基準」に準拠して実施点 検報告書(点検台帳・点検評価・写真・資料を含む。)と電子データ(CD-R)を各 3部提出する。

- ※点検口の新設が必要な場合は、その位置を示した図面を添付すること。
- ※測定表等は、指摘事項の有無にかかわらず点検を行った全数を報告すること。
- ※指摘箇所については、関係写真(必要に応じてカラー印刷とする)を添付し、その 位置と内容、写真の整理番号を図面等に記載すること。
- ※報告書に指摘事項と対応策をまとめた指摘事項一覧(別紙)を添付するとともに、 内容について、分かり易く説明を行うこと。また、区担当者からのヒアリングの求めに応じ、指摘事項や質疑の内容について、適切に説明を行うこと。
- ④ 点検実施者の資格等
 - 一級建築士、二級建築士、国土交通大臣が定める資格を有する者(建築設備検査 員 [建築設備]、防火設備検査員 [防火設備])
- 工 給排水設備点検
 - ① 関係法令

建築基準法、東京都給水条例等

② 回数

1回

③ 実施内容

給排水設備の各部清掃及び洗浄、動作確認等の機能点検、外観点検及び壁面配管内の スケール除去を実施する。

(2) その他の設備保守点検

次に掲げる設備について、年に1回、全ての機能が正常に動作することを確認する等の保 守点検作業を実施する。

ア 冷温水機設備点検

イ インターホン設備点検

ウ映像音響設備点検

(3) 設備巡回点検

ア回数

13回(定期巡回点検12回、受変電設備復電対応1回)

※定期巡回点検は1か月毎に実施、受変電設備復電対応は年1回実施

イ 実施内容

設備機器等の異常及び不具合等を早期に発見するため、施設の敷地状況・建物外観・ 設備機器の異常の有無等に関して、専門知識を有する業務従事者による施設の巡回点検 を実施する。

(4) 空気環境測定

ア関係法令

労働安全衛生法等

イ 回数

6回(2か月毎に1回)

ウ実施内容

事務所衛生基準規則第8条で規定する測定器を用い、作業環境測定基準に準拠した方法で検査を実施する。

(5) 水質検査

ア 関係法令

建築物における衛生的環境の確保に関する法律等

イ 回数

2回(6か月毎に1回)

ウ実施内容

建築物環境衛生管理基準に定める飲料水28項目についての水質検査を6月から9月に 実施し、当該検査の6月後に建築物環境衛生管理基準に定める飲料水16項目(内5項目 は、1回目の検査で基準値内である場合は省略可能)についての検査を実施する。

(6) 害虫等生息調査

ア関係法令

労働安全衛生法等

イ 回数

2回(6か月毎に1回)

ウ 実施内容

- ① トイレ、湯沸室等害虫が発生しやすい場所を点検調査し、報告書を提出する。調査等により、害虫が発見された場合は駆除し、発見されなかった場合でも、予防措置を行うこと。
- ② 生息調査の対象は、鼠、ゴキブリ、ダニとし、調査法は目視法及びトラップ法を用いる。
- ③ 生息調査の対象は、全館とする。

(7) 排水管高圧洗浄

ア回数

3年に1回

イ 実施内容

専用の薬剤及び高圧洗浄機等の専用機器を用い、施設の全排水系統における排水管及び 枡の内部に付着した異物等を洗浄する。なお、作業の実施に当たっては、作業による排 水等で周囲が汚損されないよう、養生等の適切な対応を行うこと。

2 設備保守点検の対象設備

別紙8「対象設備一覧」のとおり

3 その他

(1) 緊急対応

不定期の障害が発生した時は、上記にかかわらず区から連絡があり次第、速やかに従事者を派遣し、設備の保守点検を行うこと。なお、緊急対応に係る費用については、受託者の負担とする。

(2) 不具合等への対応

受託者は、設備の事故、破損、その他の災害等の異常事態を確認した場合、応急措置を施したうえで、ただちに区に報告し、区の指示を受けるものとする。

(3) 付随作業の実施

点検作業の際には、併せて設備の清掃及び消耗品の交換を実施する。なお、当該消耗品については、原則として受託者の負担において用意するものとする。

別紙1

清掃実施基準表

		名 称	材質	面積 (m²)	日常清掃								特別清掃		
区分	階				床の清掃	拭き掃除 (椅子、 机、カウン ター等)	建具等の 磨き (ド ア、手摺、 ガラス等)	衛生器具 等の洗浄 (便器、洗 面台、給湯 器等)	衛生品の 補給	紙くず・ 茶殻・塵 芥の回収	その他緊急時清掃	床清掃	ワック ス・ 汚材 塗 布、TC 洗浄等	壁面·高 所·外構 等	
		階段	VT	12	1/日		1/日					2/年	2/年	2/年	
		施設入口·駐輪 場等	ST	79	2/日							2/年	-	2/年	
		駐車場・駐輪 場・ピロティ等	コンクリート	69	2/日							2/年	_	2/年	
共		トイレ	GT	30	2/日			2/日	2/日	2/日		2/年	2/年	2/年	
	1 階	おもてなしスペ ース	ST	60	1/日	1/日	1/日					2/年	2/年	2/年	
用		風除室	靴拭 マット	18	1/日		1/日					2/年	2/年	2/年	
部		ベビーステーション	VS	7	1/日	1/日	1/日	1/日		1/日		2/年	2/年	2/年	
Н		日暮里区民事務 所	ST	27	1/日	1/日	1/日					2/年	2/年	2/年	
		廊下	ST	55	1/日		1/日					2/年	2/年	2/年	
	2	大階段	VT	51	1/日		1/日					2/年	2/年	2/年	
	階	階段	VT	32	1/日		1/日					2/年	2/年	2/年	

									1	T			
	2	トイレ	GT	24	1/日			2/目	2/日	2/日	2/年	2/年	2/年
	階	廊下	VT	97. 5	1/日		1/日				2/年	2/年	2/年
		ホワイエ	TC	45	1/日	1/日	1/日				2/年	2/年	2/年
		階段	VT	32	1/日		1/日				2/年	2/年	2/年
	3 階	テラス	ウッドデ ッキ	44	1/週		1/週				2/年	-	2/年
共		トイレ	GT	47	2/日			2/目	2/目	2/日	2/年	2/年	2/年
		廊下	TC	28.5	1/日		1/日				2/年	2/年	2/年
用用	4	階段	VT	32	1/日		1/日				2/年	2/年	2/年
		テラス	ウッドデ ッキ	32	1/日	1/日	1/日				2/年	_	2/年
部	階	トイレ	VS	5	2/日			2/日	2/日	2/日	2/年	2/年	2/年
		廊下	VT	23	1/日		1/日				2/年	2/年	2/年
	5 階	階段・EV ホール	VT	32	1/日		1/日				2/年	2/年(EV ホール のみ)	2/年
		トイレ	VS	5	2/日			2/日	2/日	2/日	2/年	2/年	2/年
		廊下	VT	28	1/日		1/日				2/年	2/年	2/年
	他	エレベーター	ゴム タイル	4	1/日		1/日				2/年	2/年	2/年

	1		1	ı		ı	1	I			1		1	
		給湯室	VS	6	1/日			1/日		1/日		2/年	2/年	2/年
	1	区民事務所執務 室	TC	90	1/日	1/日	1/日			1/日		2/年	2/年	2/年
	階	総合案内	ST	7	1/日	1/日	1/日			1/日		2/年	2/年	2/年
		通用口等	砂利	19	1/日		1/日					2/年	-	2/年
		管理事務室	TC	13	1/日	1/日	1/日			1/日		2/年	2/年	2/年
専		事務室	TC	28	1/日	1/日	1/日	1/日		1/日		2/年	2/年	2/年
7	2 階	創作スペース A	VT	44								2/年	2/年	2/年
用用		創作スペース B	VT	20								2/年	2/年	2/年
用		住民活動コーナ	VT	5	1/週	1/週	1/週			1/週		2/年	2/年	2/年
部		更衣室	VT	5	1/日	1/日	1/日	1/日		1/日		2/年	2/年	2/年
		更衣室・休憩室	VT	30	1/日	1/日	1/日	1/日		1/日		2/年	2/年	2/年
		和室	畳	5. 4	1/日							2/年	-	2/年
		和室	板張り	1	1/日							2/年	-	2/年
	3	多目的スペース	TC	144	1/日	1/日	1/日					2/年	2/年	2/年
	階	控室	VT	27	1/日	1/日	1/日	1/日		1/日		2/年	2/年	2/年
	4 階	区民事務所 会議室	VT	58	1/日	1/日	1/日			1/日		2/年	2/年	2/年

		IM 事務室	VT	6	1/日	1/日	1/日		1/日	2/年	2/年	2/年
		工房事務室	VT	7						2/年	2/年	2/年
専		打ち合わせコーナー	VT	45	1/日	1/日	1/日			2/年	2/年	2/年
用	5	オフィス1~4 (合計)	VT	89						2/年	2/年	2/年
	階	シェアオフィス	VT	23	1/日	1/日	1/日		1/日	2/年	2/年	2/年
部		給湯室	VS	3. 5	1/日			1/日	1/日	2/年	2/年	2/年
		テラス	ウッドデ ッキ	5. 5	1/日	1/日	1/日			2/年	ı	2/年
		工房	VT	58						2/年	2/年	2/年
		1階倉庫	コンクリート	33	1/日					2/年	-	-
	1 階	コンシェルジュ 倉庫	VS	5	1/週					2/年	2/年	2/年
倉		階段下倉庫	VS	11	1/日					2/年	2/年	-
庫	2 階	2階倉庫	VT	16						2/年	2/年	-
	3 階	3階倉庫	TC	40	1/日	1/日	1/日			2/年	1/年	1/年
	4	区民事務所倉庫	VT	43						2/年	1/年	-
	階	備蓄倉庫	VT	54	1/週					2/年	1/年	1/年

施設床仕様別面積一覧表

床面材質	面積(m²)	場所
VS (ビニール床シート)	42.5 (日常清掃 31.5)	ベビーステーション、倉庫等
VT (ビニール床タイル)	869.5 (日常清掃 592.5)	区民事務所会議室、区民事務所倉庫、 オフィス、更衣室、階段、廊下(1 階・3階を除く)
TC (タイルカーペット)	388. 5	管理事務室、事務室、多目的スペース 等
ST (せっき質タイル)	228	おもてなしスペース、コンシェルジ ュ、1 階廊下 等
GT(磁器質タイル)	101	1・2・3 階トイレ
靴拭マット	18	風除室
畳	5. 4	和室
板張り	1	和室
ウッドデッキ	81.5	テラス
コンクリート	102	駐輪場、駐車上 等
砂利	19	通用口等
ゴムタイル	4	EV

衛生陶器類一覧表

階		男子便所		女子	便所	バリアフ	リートイレ	休憩室	更衣室	控室
Pé	便器	小便器	手洗器	便器	手洗器	便器	手洗器	手洗器	手洗器	手洗器
1階	1	2	2	4	3	1	1			
2 階	1	2	2	3	3				2	
3 階	2	4	3	6	3	1	1			2
4 階	1		1	1	1					
5 階	1		1	1	1					

標準作業書(1)

1 共用部

- (1) 玄関・風除室・おもてなしスペース・ホワイエ・エレベーターホール・廊下等
 - ア 床面は、材質に応じダストモップか真空掃除機等を用いて清掃し、汚れがひどい箇所 は、汚れの程度に応じて水や適性洗剤を用いて除去する。
 - イ 玄関出入口のドア (風除室含む) 及びガラスは、常にからぶきまたは適性洗剤にて拭きとり、金属部分は光沢を失わないように磨く。
 - ウ ごみ箱の内容物は適宜巡回し処理するとともに、随時容器の清掃を行う。
 - エ 受付案内カウンターや窓枠、壁周り、巾木、案内板、椅子等は塵払いのうえ拭き上げ をする。 汚れがある場合は、固く絞った布で水拭きをした後、乾拭きすること。
 - オ 玄関のマット類は適切な方法で常に清潔にし、充分な機能を保持すること。汚れのひ どい場合は、随時適性洗剤を使用し洗浄する。
 - カ 降雨時及び降雪時は、モップで床面の水滴等を除去する等、歩行者が足を取られ転倒 することのないように注意すること。水飲場、ウォータークーラーの周囲についても 同様とする。
 - キ ウォータークーラーの給水口はエタノール75%を浸した布で消毒し、上部受皿面を 適正洗剤を用いて清掃する。
 - ク 玄関先は、随時はき掃除を行い、汚れがひどい箇所は、汚れの程度に応じて水や適性 洗剤を用いて除去する。
 - ケ 机、椅子等は、ほこりを除去し、適正洗剤を用いて拭き上げる。
 - コ サッシ、巾木、壁面、ドア、間仕切り、案内板、展示パネル等は、ほこりを除去し、 適正洗剤を用いて拭き上げる。金属部分は光沢を失わないように磨く。
 - サ 飲み物等による染み等の汚れを発見した際には、発見次第速やかに適正洗剤及び清掃 用具等により除去すること。

(2) 階段・エレベーター

- ア 床面は、ダストモップか真空掃除機等を用いて清掃し、汚れがひどい箇所は適性洗剤 を用いて除去する。
- イ 大階段造作家具は、ほこりを除去し、汚れがひどい箇所は、汚れの程度に応じて水や 適性洗剤を用いて除去する。
- ウ 大階段等のステッカー装飾等は、区の指示があった場合に、撤去作業を実施する。
- エ エレベーターの壁面のスイッチ及び扉、階段の手摺り等は適性洗剤を用いて拭き上げる。

(3) トイレ等

ア 床は適性洗剤にて洗浄した後、乾いたモップ等で水分を拭きとり、常に清潔な状態を 保つこと。

※トイレ清掃に使用するモップ等の用具については、トイレ清掃のみに使用し、他 と共用しないこと。

イ 扉、間仕切り、壁面、吊り戸棚は適正洗剤を用いて拭き上げ、常に清潔な状態を保つ こと。

- ウ 扉、衛生陶器類、化粧台、調理台、流し台、水切り棚,等は、適性洗剤にて洗浄した 後から拭きして仕上げる。
- エ ドアノブ、(個室・トイレの出入り口のドア)、トイレの給水レバー、洋式便座、ベビーシート、ベビーキープ、生理用品収納ボックス (1 階女子便所、2 階女子便所、3 階女子便所の個室に配置) は、除菌クリーナー等の適正洗剤を用いて、適切な方法により常に清潔な状態を保つこと。
- オ 茶がら、生ゴミ、紙屑、汚物等の処理は、常に巡回して内容物を処理し、容器を洗浄する。
- カ トイレットペーパー、水石鹸、生理用品等の消耗品は、使用に支障を来さないように 補給する。 また、擬音節水機が設置されている場合は、音の確認を行い、電池の消 耗が見受けられる場合には、区が支給する乾電池と交換すること。
- キ 季節や気温の状況に応じて、暖房便座の機能の切り替えを行うこと。

(4) ゴミ置場

- ア 床面は、デッキブラシによる水洗いを行い、常に清潔な状態を保つこと。
- イ ゴミは種類ごとに仕分けして、最も適した保管方法で整理整頓する。
- (5) 屋上・駐車場・駐輪場・植込・外回り
 - ア 掃き掃除を主とした見回り清掃を行い、植込は必要に応じ散水する。
 - イ 側溝、排水溝、目皿等は随時点検し、落葉や塵芥等の集積を排除し、詰まることのないようにする。
 - ウ 外部案内板等はほこり、汚れを除去し、乾布か雑巾で拭きとる。
- (6) 倉庫(コンシェルジュ倉庫、1階倉庫、階段下倉庫、2階倉庫、3階倉庫、区民事務所倉庫、備蓄倉庫)
 - ア 容易に移動できるものは移動し、ゴミが散乱しないように床材に合わせて真空掃除機 等を用いてゴミを除去し、汚れのひどい箇所は適性洗剤を使用して除去する。
 - イ サッシ、巾木、壁面、ドア、間仕切り等は、ほこりを除去し、必要に応じて適正洗剤 を用いて拭き上げる。金属部分は光沢を失わないように磨く。

2 専用部

- (1) 1階 区民事務所執務室、給湯室、総合案内
 - 2階 管理事務室、事務室・更衣室、休憩室・和室・更衣室
 - 3階 多目的スペース、控室
 - 4階 区民事務所会議室
 - 5階 IM事務室、シェアオフィス、休憩・打合せコーナー
 - ア 容易に移動できるものは移動し、ゴミが散乱しないように床材に合わせて真空掃除機 等を用いてゴミを除去し、汚れのひどい箇所は適性洗剤を使用して除去する。
 - イ 休憩室・和室・多目的スペース・控室・区民事務所会議室・休憩・打合せコーナー等 の共用で使用する机、椅子等はほこりを除去し、適正洗剤を用いて拭き上げる。
 - ウ サッシ、巾木、壁面、ドア、間仕切り、案内板、展示パネル等は、ほこりを除去し、 適正洗剤を用いて拭き上げる。金属部分は光沢を失わないように磨く。
 - エ 飲み物等による染み等の汚れを発見した際には、発見次第速やかに適正洗剤及び清掃

用具等により除去すること。

- オ 衛生陶器類、化粧台、調理台、流し台、水切り棚等は、適性洗剤にて洗浄した後から 拭きして仕上げる。なお、茶がら、生ごみ等は、適切な方法により除去すること。
- カ ごみ箱の内容物を処理し、容器の清掃を行う。この際、ゴミ等が床に散乱しないよう に注意すること。
- (2) その他の部分(通用口、テラス等)
 - ア 床材に合わせて真空掃除機、箒及びデッキブラシ等を用いて清掃実施し、緑化シート 等には必要に応じて散水する。
 - イ 排水溝等に詰まり等がおきないよう点検し、適宜清掃を行う。
 - ウ 壁面、ドア、手すり等はほこりを除去し、拭き上げる。金属部分は光沢を失わないように磨く。

3 その他

感染症等の発生状況に応じて、手指接触過多箇所のアルコール等による拭き上げ作業を実施する。実施に際しては、事前に区と協議を行うこと。

標準作業書(2)

1 共用部

(1) 靴拭マット

埃やゴミを真空掃除機で清掃した上で、十分なすすぎ洗いを行い、乾燥させる。

(2) エレベーター

エレベーターの扉・壁面及び操作パネルは乾拭きし、汚れがひどい場合には適正洗剤で拭き上げる。床面は、適正洗剤で洗浄する。壁面保護マット・床面保護カーペット等が設置されている場合は取り外し、適正洗剤で洗浄した後に元に戻すこと。

(3) 案内板・表示板

適正洗剤を使用し汚れを除去した後、金属部がある場合は拭き上げる。

2 専用部

(1) 畳

汚れを除去したうえで水拭きした後、虫干しを行う。

3 共用部・専用部共通

(1) タイルカーペット

埃やゴミを真空掃除機で清掃した上で、染み抜き作業を行った後、適正洗剤を用いたシャンプークリーニングを行う。清掃後は十分なすすぎ洗いを行い、乾燥させる。

- (2) ビニル床タイル、ビニル床シート、せっき質タイル、磁器質タイル 適性洗剤を塗布し、ポリシャー等を用いて洗浄した後、床材に適したワックス・防汚剤及 び滑り止め液を塗布し、適宜つやだし等を行い、仕上げる。
- (3) その他の床・壁 材質に合わせた清掃方法により、埃・ゴミ・汚れを入念に取り除く。
- (4) ガラス

ア面積

445.82㎡ (片面)

イ 作業内容

ガラスまたはフィルムに対する適正洗剤を用いてガラス両面の汚れを入念に除去し、 拭きあげる。 サッシは、水で濡らした雑巾等で汚れを除去し、汚れが著しい場合 は、適性洗剤で洗浄し、水拭き仕上げをする。 なお、高所の清掃にあたっては、ゴ ンドラ、高所用梯子等を使用して作業すること。

ウ 清掃範囲

別紙5「窓清掃図面」のとおり。

(5) ロールスクリーン

ア面積

 $338.02 \,\mathrm{m}^2$

イ 作業内容

スクリーンの両面のほこり・汚れを除去し、必要に応じて適性洗剤を用いて拭きあげ

る。なお、高所の清掃にあたっては、高所用梯子等を使用して作業すること。

ウ 清掃範囲

別紙6「ロールスクリーン清掃図面」のとおり。

(6) 照明器具の清掃

ア 数量

754個

イ 作業内容

適切な方法でほこり、汚れを除去する。カバーについても同様とする。なお、高所の清掃にあたっては、高所用梯子等を使用して作業すること。

ウ 清掃範囲

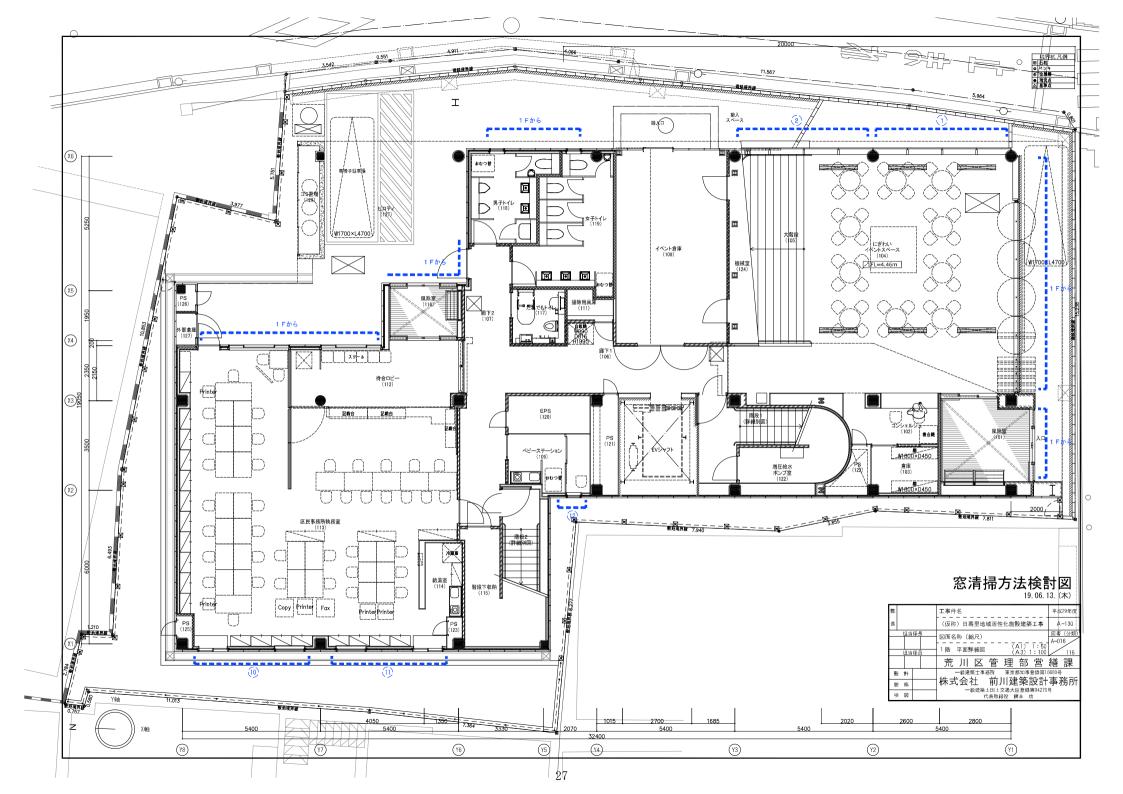
別紙7「照明器具清掃図面」のとおり。

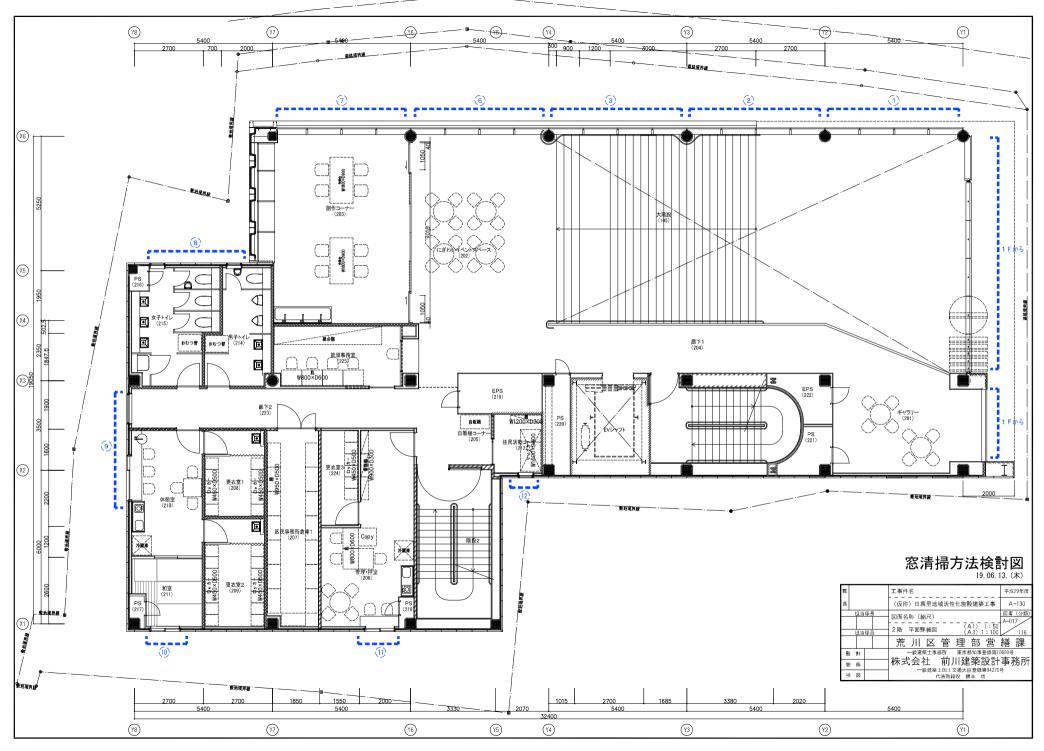
(7) 時計

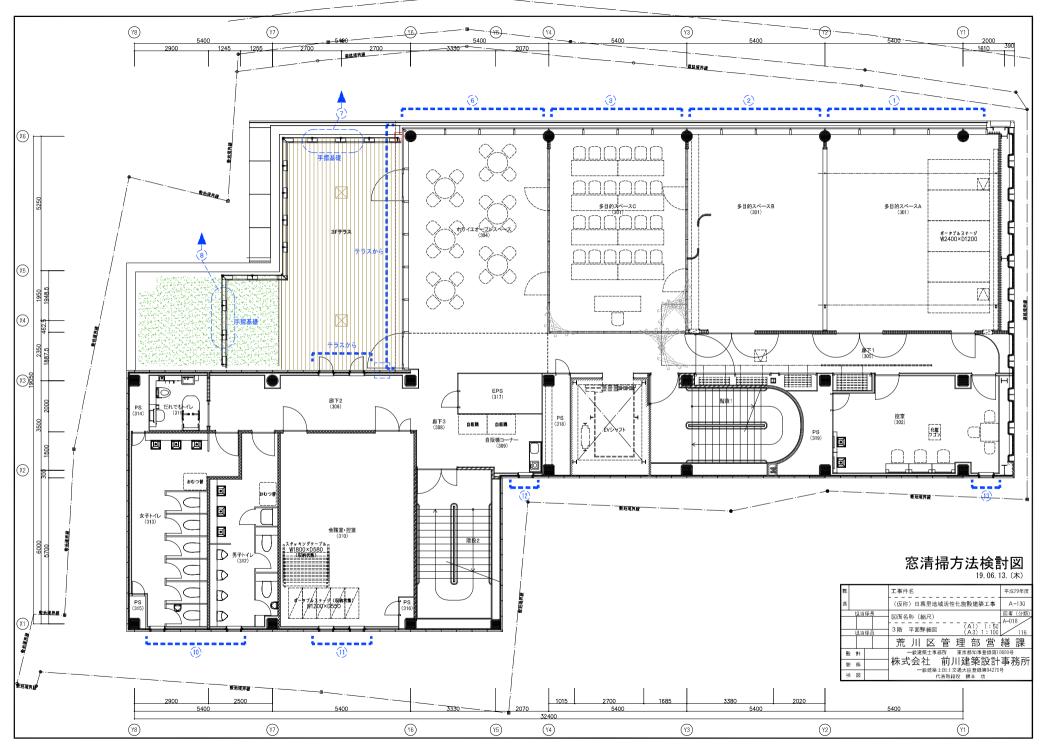
カバー前面及び周囲のほこりを除去した後、かたく絞った布で水拭きをすること。カバーがないものは、針に触れないように注意し、適切な方法でほこりを除去すること。

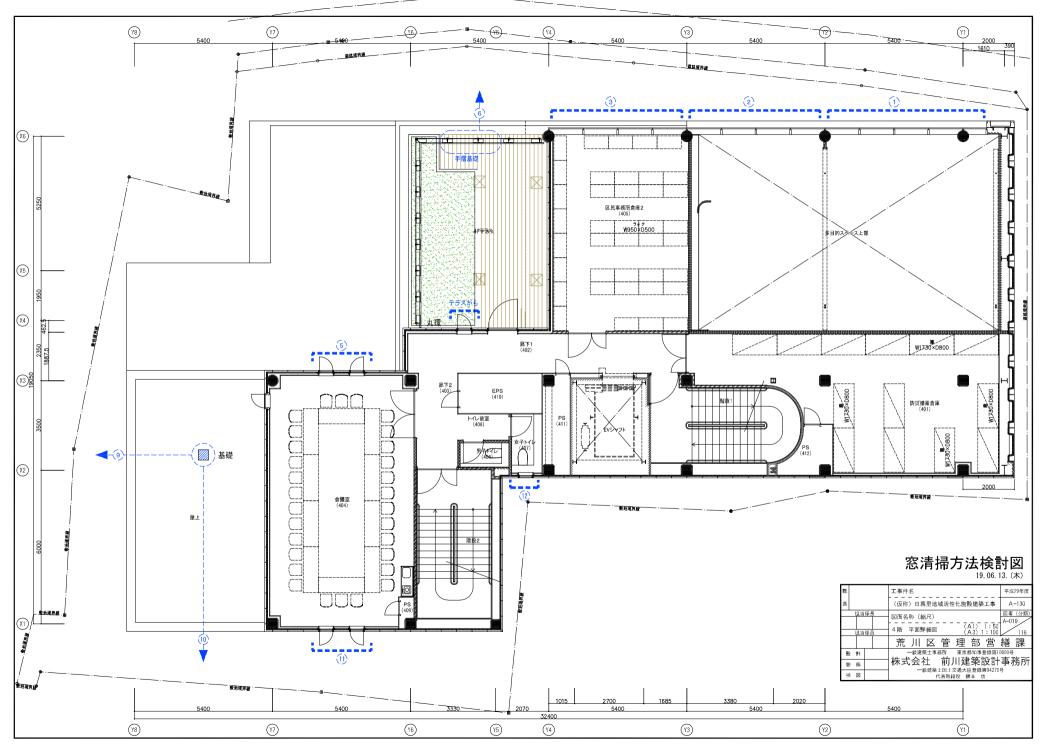


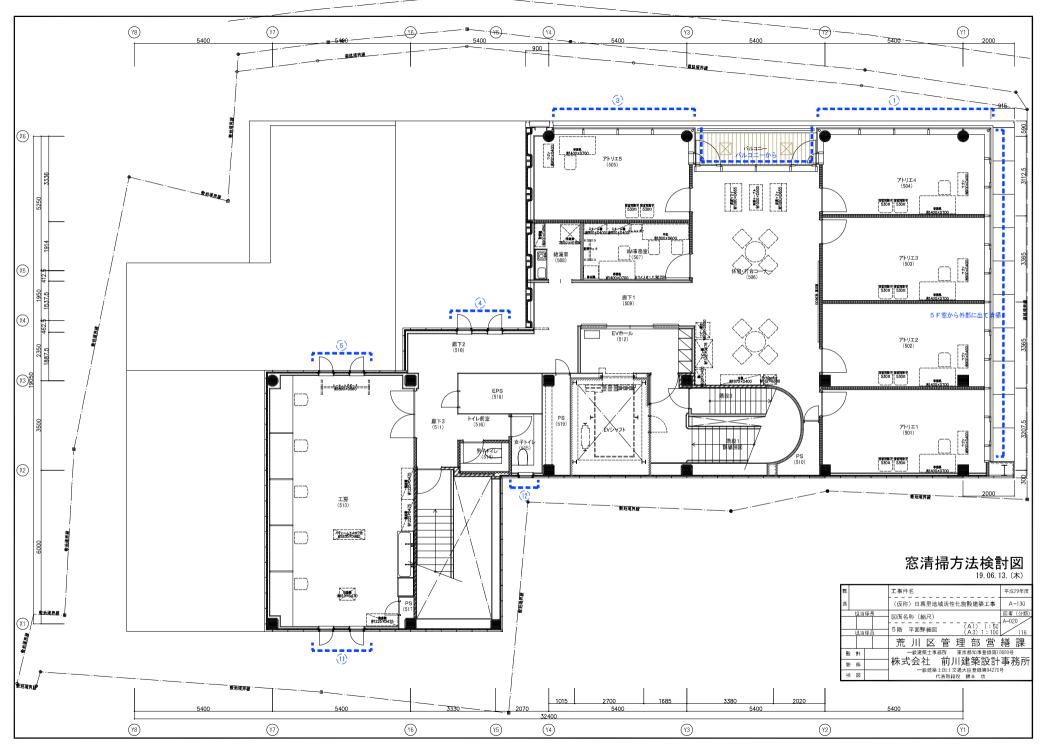


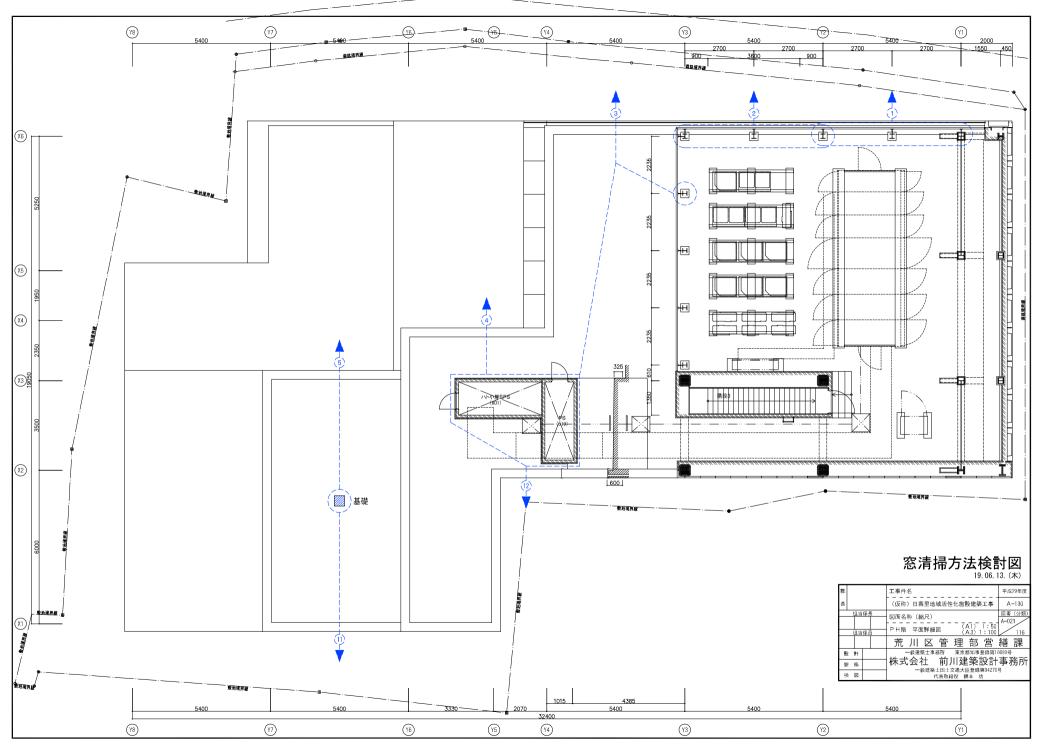


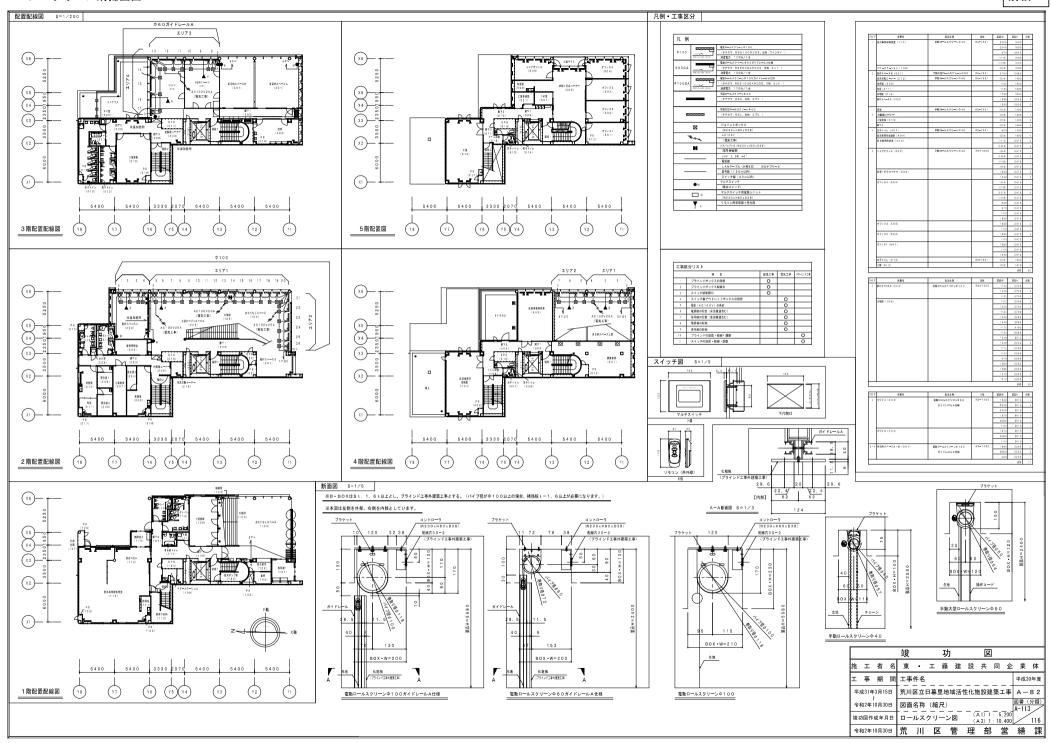




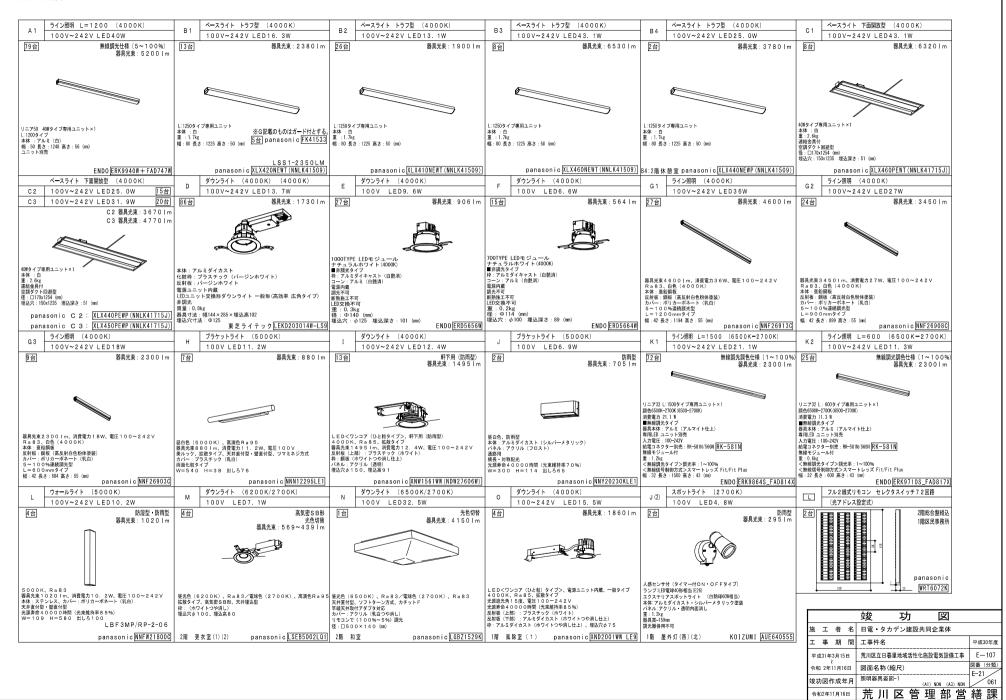


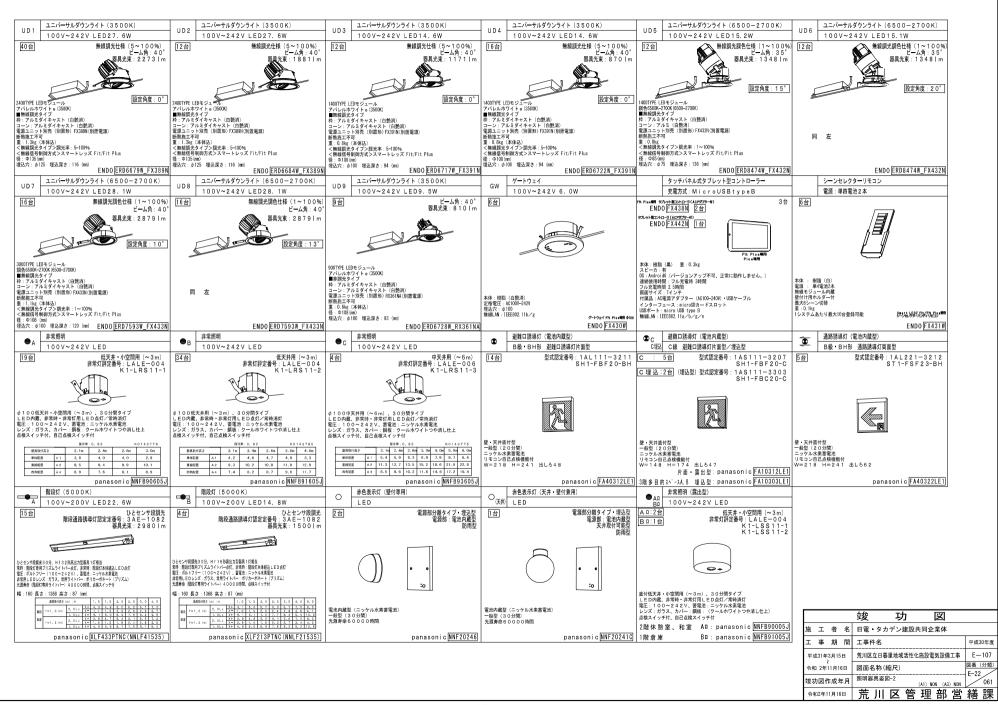


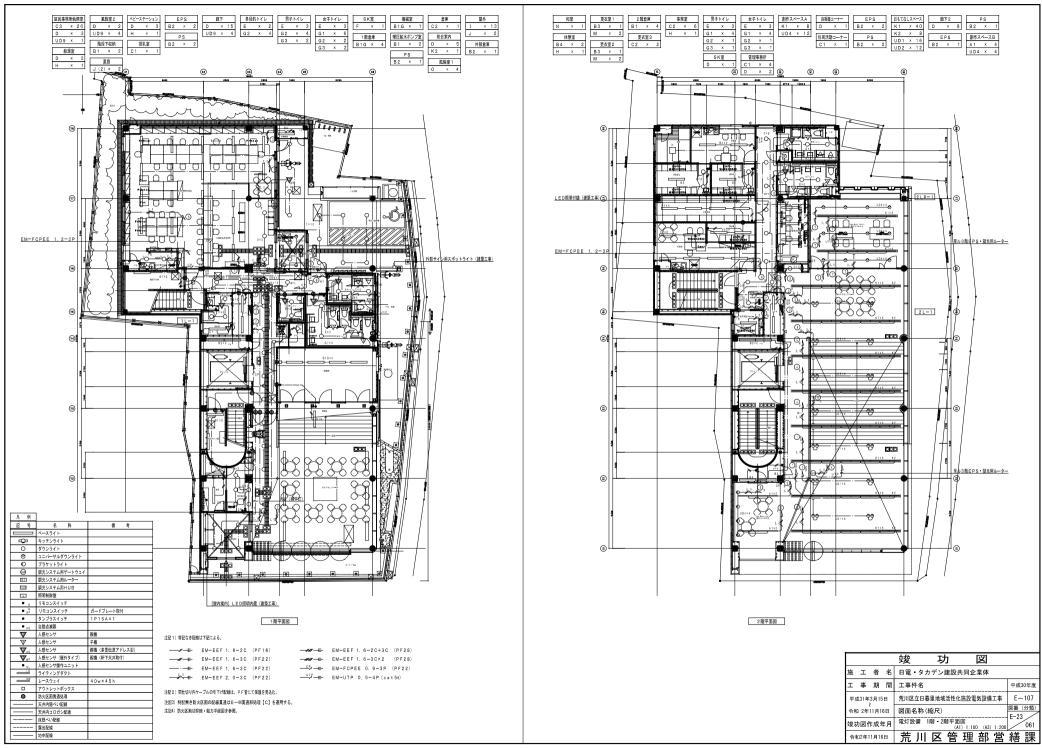


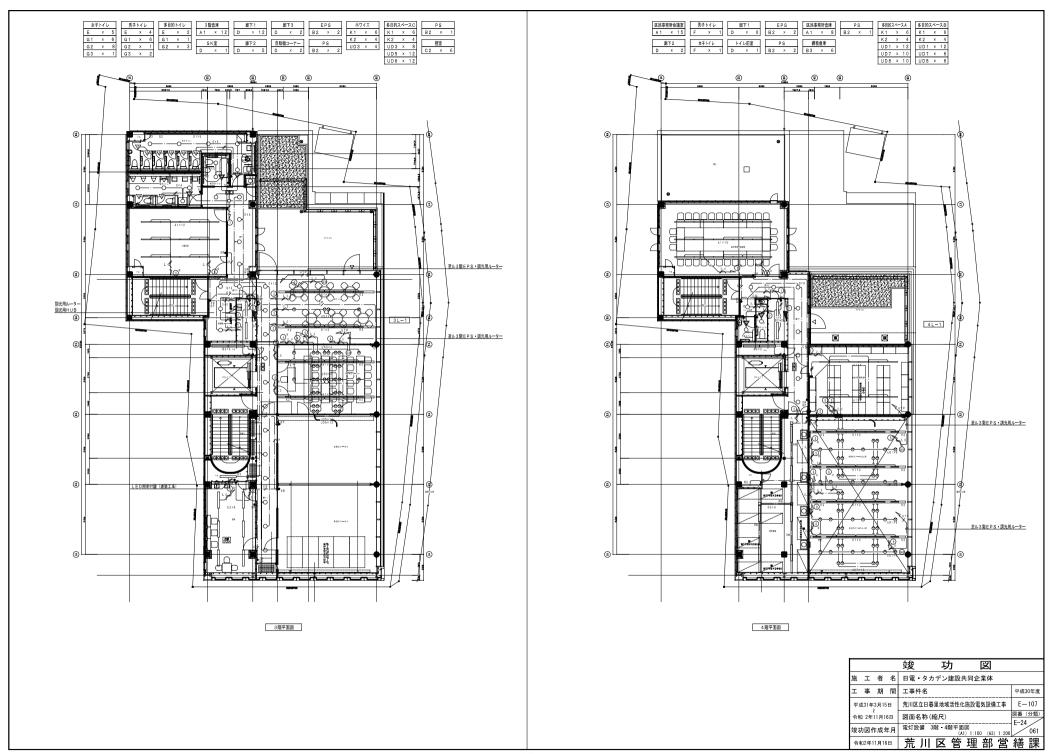


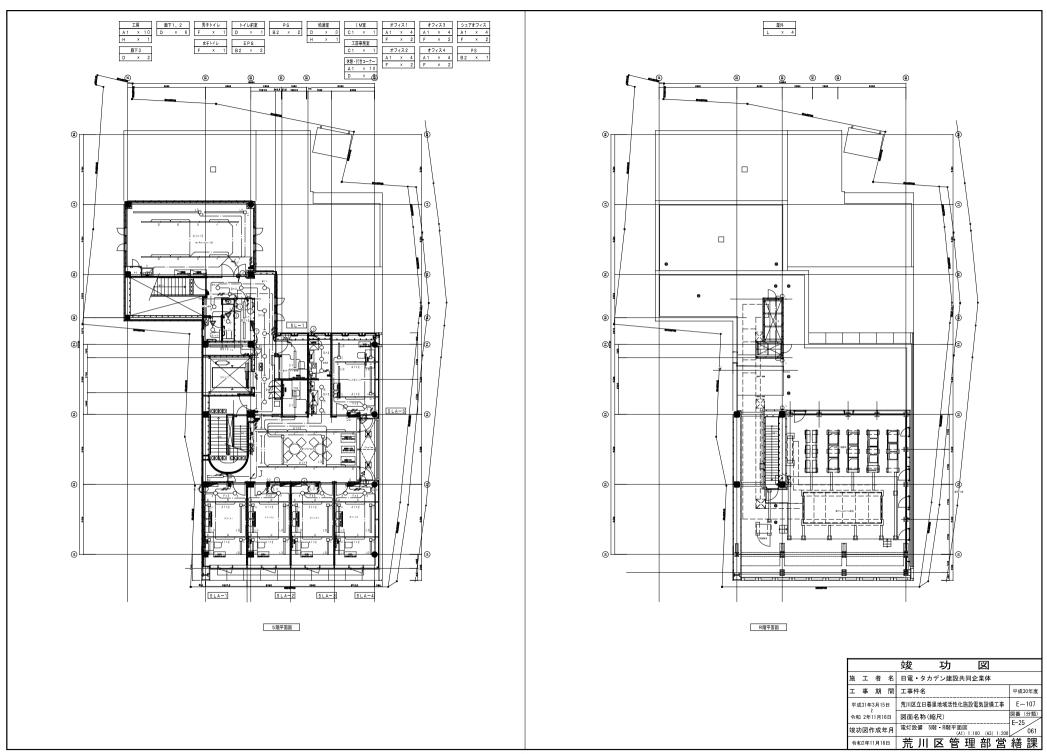
照明器具清掃図面

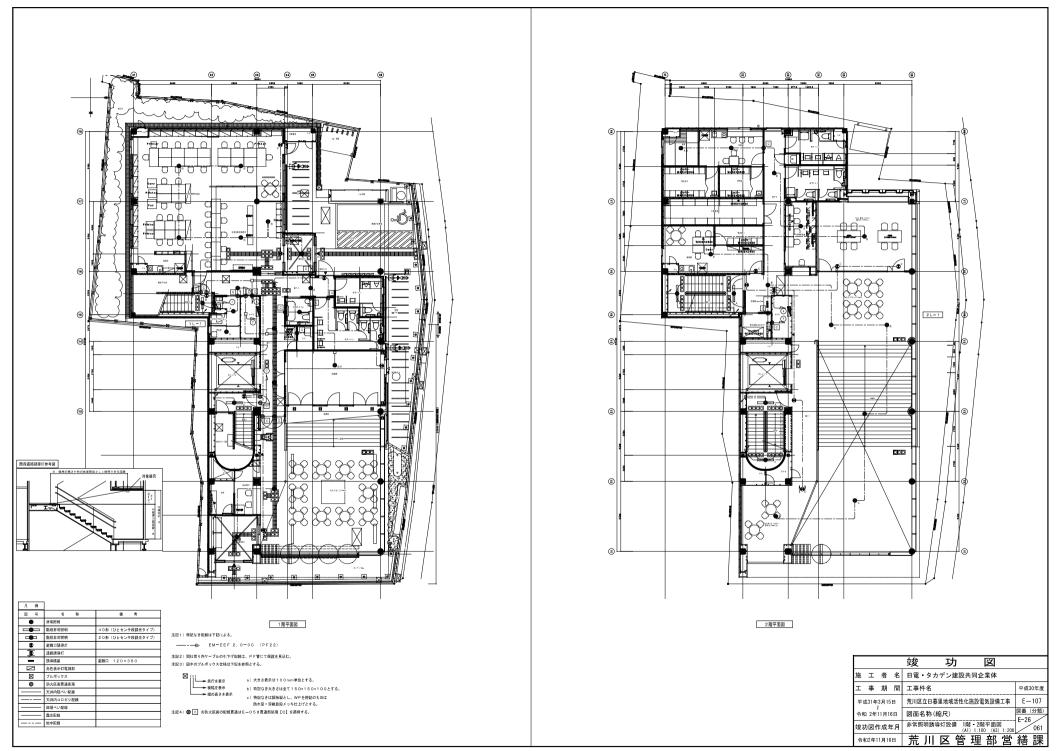


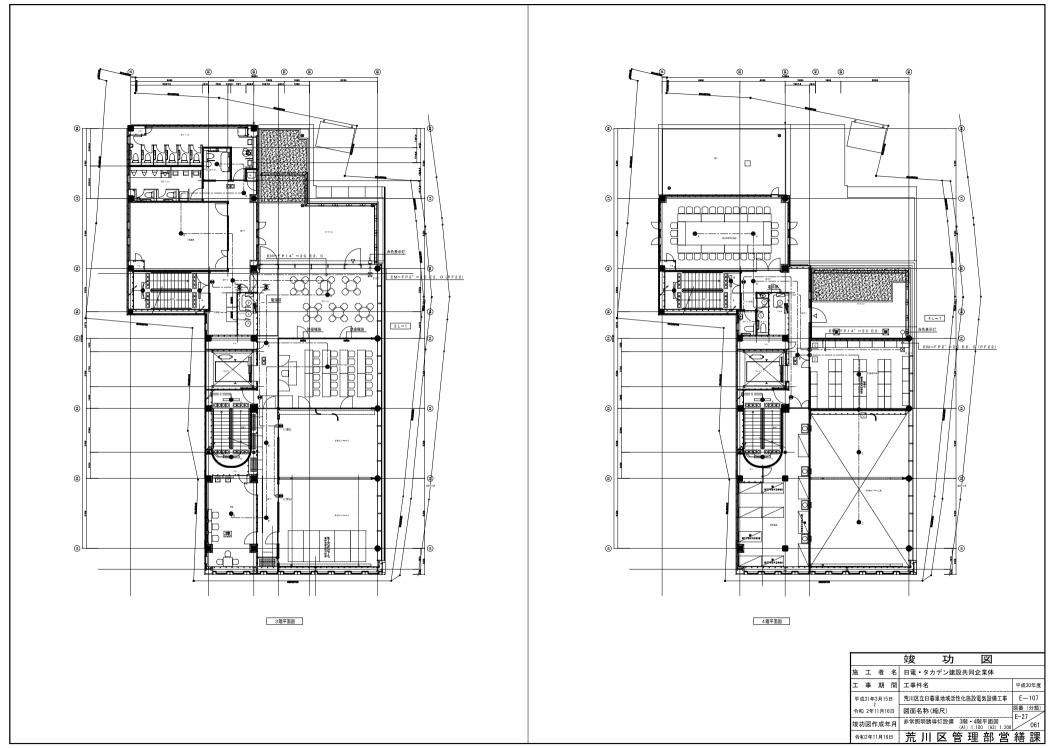


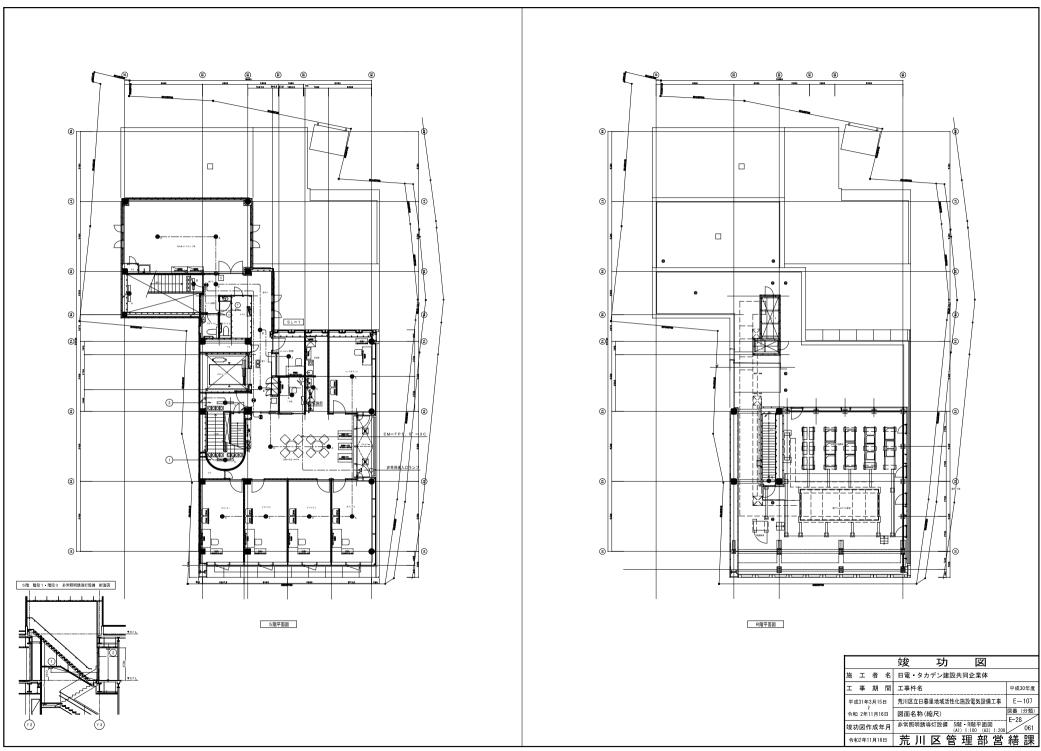












(別紙)対象設備一覧

1 空調・換気設備

種別	機器名		仕様	備考・型番	数量
		冷房能力	28. 0kW	RXYP280F	1
		暖房能力	31.5kW	ダイキン工業製	
		冷房能力	56.0kW	RXYP560F	1
		暖房能力	63.0kW	ダイキン工業製	
		冷房能力	22.4kW	RXYP224F	1
		暖房能力	25.0kW	ダイキン工業製	
空調設備	冷暖房機	冷房能力	50.0kW	RXYP450F	1
(室外機)	(室外機)	暖房能力	56.0kW	ダイキン工業製	
		冷房能力	95.0kW	RXYP950F	1
		暖房能力	106.0kW	ダイキン工業製	
		冷房能力	16.0kW	RXYP160DB	1
		暖房能力	18.0kW	ダイキン工業製	
		冷房能力	33.5kW	RXYP335F	1
		暖房能力	37.5kW	ダイキン工業製	
		天井カセット4ブ	方向型	FXYFP56DA	10
		冷房能力	5.6kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	6.3kW		
		天井カセット4ブ	方向型	FXYFP71DA	2
		冷房能力	7.1kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	8.0kW		
		壁掛型		FXYAP28MD	7
		冷房能力	2.8kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	3.2kW		
空調設備	冷暖房機	天井カセット2ブ	方向型	FXYCP28CB	1
(室内機)	(室内機)	冷房能力	2.8kW	ダイキン工業製	
(主11)及/	(主产力及)	暖房能力	3.2kW		
		天井カセット1ブ	方向型	FXYKP22CA	2
		冷房能力	2.2kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	2.5kW		
		天井カセット2ブ	方向型	FXYCP22CB	8
		冷房能力	2.2kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	2.5kW		
		天井埋込ダクト型	<u>-</u> 번	FXYMP45CA	1
		冷房能力	4.5kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	5.0kW		

		天井埋込ダクト型		FXYMP160CA	3
		冷房能力	16.0kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	18.0kW		
		天井埋込ダクト型		FXYMP71CA	6
		冷房能力	7.1kW	ダイキン工業製	
/	VV 102 = 14k	暖房能力	8.0kW		
空調設備	冷暖房機	天井埋込ダクト型		FXYMP56CA	1
(室内機)	(室内機)	冷房能力	5.6kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	6.3kW		
		天井埋込ダクト型		FXYMP112CA	5
				ダイキン工業製	
		冷房能力	11.2kW		
		暖房能力	12.5kW		
		天井カセット2方向]型	SZRG40BCV	1
		冷房能力	3.6kW	ダイキン工業製	
		暖房能力	4.0kW		
空調設備		天井カセット4方向]型	SZRC40BCV	1
(ペア型)		 冷房能力	3.6kW	ダイキン工業製	
※数量は、	冷暖房機	 暖房能力	4. 0kW		
室外機と	(ペア型)	天井カセット4方向]型	SZRC45BCV	3
室内機の		 冷房能力	4. 0kW	ダイキン工業製	
セット数		暖房能力	4.5kW		
		天井カセット4方向]型	SZRC112BC	2
		 冷房能力	10.0kW	ダイキン工業製	
		 暖房能力	11.2kW		
	ON/OFF	16 グループ制御		DCS301B1	3
空調設備	コントローラ				
		天井埋込ダクト形		LGH-N50RX3	7
		風量	240~465 m³/h	三菱電機製	
		天井埋込ダクト形		LGH-N25RX3	3
		風量	100∼190 m³/h	三菱電機製	
		天井埋込ダクト形		LGH-N35RX3	1
換気設備	全熱交換機	風量	240 m³/h	三菱電機製	
		天井埋込ダクト形		LGH-N65RX3	6
		風量	270~600 m³/h	三菱電機製	
		天井埋込ダクト形		LGH-N80RX3	3
		風量	650~750 m³/h	三菱電機製	

	A ++ LA L/V.	天井埋込ダクト形		LGH-N15RX3	6
	全熱交換機	風量	60~120 m³/h	三菱電機製	
	ON/OFF =>	16 グループ制御		PAC-YT40ANR-W1	3
	トローラ				
		ストレートシロッコ	ファン	BFS-65SUC	3
		風量	420~540 m³/h	三菱電機製	
		ストレートシロッコ	ファン	BFS-80SUC	2
	シロッコファ	風量	590∼660 m³/h	三菱電機製	
	ン	ストレートシロッコ	ファン	BFS-120SUC	1
		風量	980 m³/h	三菱電機製	
		ストレートシロッコ	ファン	BFS-90SUC	2
		風量	720~730 m³/h	三菱電機製	
		天井扇 (金属製)		VD-15ZVX3-C	3
		風量	50~60 m³/h	三菱電機製	
		天井扇 (金属製)		VD-15ZVC3	5
		風量	90~190 m³/h	三菱電機製	
松层机供		天井扇 (金属製)		VD-18ZVX3-C	1
換気設備	ダクト用	風量	210 m³/h	三菱電機製	
	換気扇	天井扇 (金属製)		VD-15ZXP10-FP	3
		風量	80~140 m³/h	三菱電機製	
		天井扇 (金属製)		VD-20ZV3	1
		風量	200 m³/h	三菱電機製	
		天井扇 (金属製)		VD-18ZVC3	2
		風量	230 m³/h	三菱電機製	
		パイプ用ファン		V-12PALD7	1
		風量	80 m³/h	三菱電機製	
	ッノプロコー	パイプ用ファン(温原	惑センサー)	V-12PTLD7	1
	パイプ用ファ	風量	90 m³/h	三菱電機製	
		パイプ用ファン(温原	惑センサー)	V-12PS7	1
		風量	90 m³/h	三菱電機製	
		パイプ用ファン(温』	惑センサー)	V-20PXSD4	1
		風量	200 m³/h	三菱電機製	
	制気口				149
	1/X [U] 	フィルター付			25

2 消防設備・建築設備・防火設備

種別	機器名		仕様	備考·型番等	数量
ダンパー	防火·防煙				17
	ダンパー				
ダンパー	防火ダンパー				44
自動火災備	複合受信機	表示	地図式プリント LED 方式 AC100V 50/60Hz (最大 175VA) DC24V 3500mAh ニッ蓄型型 40 回線 が 10 回来 10 回線、 単型 40 回線、 単型 40 回線、 単型 40 回線、 単型 40 回線、 単型 (線、 の回線、 の回線、 の回線、 の回線、 の回線、 のの回線、 のの回線、 のの回線、 のの回線、 のの回線、 のの回。 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ののので、 ので、	P型1級 日本ドライケミ カル製	1
	副受信機	回線数表示方式	盤:1回線 40回線 地図式フィルムカ ラープリント LED 方式	P型1級 電源装置あり 日本ドライケミ カル製	2
		回線内訳	複合受信機と同様		

	機器収容箱	発信機埋込型(P型1級 リング式表示灯付)	日本ドライケミカル製	5
	非常放送アンプ			1
	光電式		2種	79
	スポット型感		 日本ドライケミ	
	知器		カル製	
	光電式		3種	17
	スポット型感		日本ドライケミ	
	知器		カル製	
	差動式		2種	3
	スポット型感		- 圧 日本ドライケミ	
自動火災	知器		カル製	
報知設備	定温型		特殊・1 種	4
1,000	スポット型感		日本ドライケミ	
	知器		カル製	
	自動閉鎖装置		ダンパー用	20
	危害防止用連		シャッター用	4
	動中継器			
	電子ブザー			4
			主にオートドア	14
	制御盤		等用	
		電動式防火防煙シャッター	防火防煙形式	2
		煙感連動式	SS2	
		 天井隠蔽型シャッターBOX	(CAS-0295)	
電動・防		W1660mmH2500mm(1F), W1665mmH1490(5F)		
火シャッ	防火防煙	耐火クロス防火防煙シャッター	防火防煙形式	2
ター	シャッター	 手動式 (バランス式)	SS1 (EA-0348)	
		煙感連動式		
		天井隠蔽型		
		W1200mmH2500mm (4F·5F EV 前)		
	防火戸感知器	随閉式特定防火設備	ラッチ付き	8
	連動	煙感連動式	防火防煙形式	
		防火扉×1 (1階廊下)	特 2 S	
防火扉		W1785 mmH2500 mm【折り畳み式】		
ショノト月ド		(1 階廊下)×1		
		W1040 mmH2500 mm(2~5 階階段室 1)×4		
		W1040 mmH2500 mm【くぐり戸付き】		

		(1 階階段室 1・2)	×2		
		W1200 mm H2500 mm	【くぐり戸付き】		
		(2 階階段室 2)×1			
		ワンタッチ式ワイヤ		MD-NW, NWE	19
	排煙窓	バッテリー電源有り		豊和製	13
排煙設備	可動防煙垂れ	煙感連動式	,	豆仰农	2
	壁)			2
	华	消費電力	0.9w	NNFB90605J	19
		蓄電池	ニッケル水素電池	パインのののり	
		怪	φ 100	/·//—//A	
		低天井・小空間用		NNIPPO 1 005 T	0.0
		消費電力	1w	NNFB91605J	33
		蓄電池	ニッケル水素電池	パナソニック製	
		径	φ 100		
		低天井・小空間用			
		消費電力	1.3w	NNFB93605J	4
	非常照明	蓄電池	ニッケル水素電池	パナソニック製	
	介 市职切	径	φ 100		
北岩四		低天井・小空間用	$(\sim 6 \mathrm{m})$		
非常照		消費電力	0. 9w	NNFB90005J	2
明・誘導		蓄電池	ニッケル水素電池	パナソニック製	
灯設備		径	φ 155		
		低天井・小空間用	(∼3m)		
		消費電力	1w	NNFB91005J	1
		蓄電池	ニッケル水素電池	パナソニック製	
		径	φ 155		
		低天井・小空間用	(~3m)		
		B級·BH形 避難口		FA40312	14
		蓄電池	ニッケル水素電池		
		C級 避難口誘導灯		FA10312	7
	誘導灯	蓄電池		FA10303	•
		B級·BH形 通路部		FA40322	5
		」 蓄電池	5年月回回至 ニッケル水素電池	17140322	J
		宙电心	ーツケル外系电他		

		消費電力	14.2W	XLF433PTNC	15
		器具光束/色温度	$15001 \mathrm{m}/5000 \mathrm{K}$	パナソニック製	
	RIN I'II. I	蓄電池	ニッケル水素電池		
	階段灯	消費電力	22.6W	XLF213PTNC	4
		器具光束/色温度	29801 m / 5000 K	パナソニック製	
		蓄電池	ニッケル水素電池		
		消費電力	2.5W	NNF20246	3
	赤色灯	蓄電池	ニッケル水素電池	NNF20241C	
				パナソニック製	
		常用電源	AC100V 50/60Hz	緊急地震放送法	1
				制化対応	
		非常用電源	DC24V	一斉移行タイマ	
			密閉型ニカド電池内	一内臓	
			臓		
		 定格出力	90W	FS10-920	
	□ ■壁掛型非常用	非常系統数	20 系統	TOA 製	
	放送設備	入力	音声×7、制御×27		
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	出力	制御×13		
		周波数特性	50Hz~15khz		
		非常警報音	音声警報、日本語の		
非常用		71 10 11 10 11	み/		
放送設備			日本語+英語 切換		
			式		
		電源	DC24V	FS-1020RM	1
			密閉型ニカド電池内	TOA 製	-
			臓		
	壁掛型非常用	出力制御	10 局+10 グループ		
	リモコン		(アサイン可能)、通		
			常一斉・緊急一斉		
		音声入力	マイク/ライン・ライ		
			ン各 1		
	スピーカー	TOA 製	-		70
 消火器設	消火器				11
備					
	l	1			

3 給排水・冷温水機設備

種別	機器名		仕様	備考・型番	数量
		型式	増圧直結給水ユニット	起動方式:直入	1
	増圧直結		(ステンレス製) 単独交	KDP3-40A1.5A	
	給水ポンプ		互運転形	川本製作所製	
	ユニット	仕様	$40\phi\times140 \text{L/min}\!\times\!35\text{m}$		
	مر دور دا مالل	型式	雑排水用水中ポンプ	WU04-405-0.15S	1
給排水設備	排水ポンプ		(自動交互運転形)	×2 台	
	(湧水)	仕様	$40 \phi \times 50 L/min \times 5m$	川本製作所製	
	排水目皿	SUS 製バスケット	付きトラップ(T14-AA50)、	他一式	1
	汚水枡	塩ビ製			14
	雨水枡	コンクリート製・塩ビ製			8
	電気温水器	型式	据え置き型(飲用・洗い	REKB12A12	5
			物用)	TOTO 製	
		貯湯量	12L		
		寸法	$336 \texttt{W} \!\times\! 250 \texttt{D} \!\times\! 402 \texttt{H}$		
		型式	壁掛け型	REWF03B11	2
冷温水機	電気温水器	貯湯量	3L	T0T0 製	
設備		寸法	$210 \text{W} \times 135 \text{D} \times 297 \text{H}$		
		型式	壁掛式 押しボタン式	P8SBF	1
		冷水能力	30L/h	OSG コーホ゜レーション	
	冷水機			製	
		貯水量	約 2L		
		寸法	$448 \mathbb{W} \times 473 \mathbb{D} \times 962 \mathbb{H}$		

4 インターホン設備

種別	設備名		仕様	備考・型番等	数量
		電源電圧	AC100V 50/60Hz	ЈН-24АРВ	1
		形状	壁取付型	アイホン製	
	☆日 ₹₹₹	通話方式	拡声自動交互通話/プレス		
	親機		トーク通話		
		モニター	3.5型 TFT カラー液晶		
		録画機能	自動・手動録画		
通用口		電源電圧	AC100V 50/60Hz	ЈН-2HD-Т	1
インターホン		形状	壁取付型	アイホン製	
設備	増設親機	通話方式	拡声自動交互通話/プレス		
			トーク通話		
		モニター	3.5型 TFT カラー液晶		
		電源電圧	モニター付親機から供給	防雨型	2
	カメラ付玄	形状	壁取付型	JH-DB	
	関子機	カメラ	1/4 型カラーCMOS	アイホン製	
		通話方式	拡声自動交互通話		
		電源電圧	DC12V	電源アダプター付	1
		通話方式	電話型同時通話	親子式・相互式	
	親機	形状	壁取付・卓上両用	親機	
授乳室				TD-3H/B	
インターホン				アイホン製	
設備		電源電圧	DC12V	親子式・相互式	3
	一 乙.16%			親機	
	子機	通話方式	電話型同時通話	TD-3H/B	
		形状	壁取付・卓上両用	アイホン製	
		電源電圧	DC24V (制御装置から供給)	GBX-DLMU	1
		形状	壁埋込型	アイホン製	
		カメラ	1/4 型カラーCMOS		
	カメラ付集	通話方式	ハンズフリー通話		
	合玄関機	選局方式	テンキー部屋番号選局方式		
玄関集合機					
設備(5階)		解錠方式	暗証番号(4 桁)又は逆マス		
			ターキースイッチ		
		電源電圧	AC100V 50/60Hz	アイホン製	1
	d d days l	形状	 壁取付型		
	制御装置	通話·映像路	 1 通話路・1 映像路		
		数			

		電源電圧	DC24V (制御装置から供給)	GBX-MK	1
	管理室イン	消費電流	待機時 65mA	アイホン製	
	ターホン親		最大 85mA		
	機	通話方式	電話型同時通話		
		形状	壁取付型·据置型		
玄関集合機	オフィスイ	電源電圧	AC100V 50/60Hz	GBM-2MK	5
設備(5階)	ンターホン	形状	壁取付型	アイホン製	
	親機	モニター	3.5型 TFT カラー液晶		
		電源電圧	親機から供給	GB-DA	5
	オフィスド	形状	壁取付型	アイホン製	
	アホン	カメラ	1/4 カラーCMOS		
		通話方式	自動交互通話		
		電源電圧	AC100V 50/60Hz	CBN-3C	1
	トイレ呼出	形状	壁取付型	アイホン製	
	表示機	窓数	3 窓		
		表示方式	呼出音と表示窓点灯		
		電源電圧	DC12V(表示機から供給)	CBN-3CS	1
	トイレ呼出	形状	壁取付型	アイホン製	
トイレ呼出	副表示機	窓数	3 窓		
設備		表示方式	呼出音と表示窓点灯		
IX I/III	トイレ呼出	形状	壁埋込型		4
	ボタン				
	トイレ呼出	形状	壁埋込型	引きひも式、押	2
	ボタン(引			ボタン式両用	
	きひも付)				
	表示灯	形状	壁埋込型		3
	復旧ボタン	形状	壁埋込型		3

5 映像音響設備

種別	設備名		仕様	備考·型番等	数量
		電源	AC100V 50/60Hz	主電源パネル	1
		定格出力	550W \times 4 (4 Ω) 、350W \times 4 (8 Ω)	組込	
		デジタルステレス	ナミキサー	M-633D	
		入力	最大 12 チャンネル モノラル	TOA 製	
			×6、ステレオ×3		
		出力	最大6チャンネル モノラル		
			×2、ステレオ×1、ステレオ録音		
			$\times 1$		
		バス	モノラル×2、ステレオ×1		
		デジタルマルチン	スイッチャー	MSD-501	
		映像入力	デジタル:HDMI×3、アナログ:	TOA 製	
			アナログ RGB×2		
		音声入力	デジタル×3、アナログ×5		
		映像出力	$HDMI/DVI \times 1$		
		音声出力	デジタル:1×2 分配、アナログ		
1階おもてな	ワゴンア		$\times 1$		
しスペース映	ンプ	デジタルワイヤレ	ノスチューナー	WT-D1804	
像音響設備	,	入力	アンテナ×4、ミキシング×1	TOA 製	
		出力	単独×4、ミキシング×1		
		受信周波数	800MHz 帯		
		チューナーユニ	4波実装(最大4波)		
		ット			
		BD/DVD プレーヤー	_	BDP-S6700	
		記録可能メディ	BD-R/-R DL/-R XL, BD-RE/-RE	ソニー製	
		ア	DL/-RE XL, DVD-R/-RW		
		再生可能メディ	BD-R/-R DL/-R XL, BD-RE/-RE		
		ア	DL/-RE XL, DVD-R/-RW/-R DL/-		
			RAM/DVD+R/+RW/+R DL		
		入出力端子	HDMI 出力、LAN 端子、USB		
		外部入力パネル		TOA 製	
		コネクター	HDMI×1、D-sub15ピン×1、ステ		
			レオミニジャック×1、RCA ピン		
			$\times 3$		

		OD 21 / 21 / 22	11.7.27	D1 +1-0	
			uetooth レシーバー	Bluetooth3.	
		出力	アナログ、デジタル、ヘッドホン	0 対応	
		演奏可能ディス	CD、CD-ROM、CD-R、CD-RW	CD-200BT	
		ク		タスカム製	
		演奏可能フォー	CD-DA、WAV、MP2、MP3		
	ワゴンア	マット			
	ンプ	ソリッドステート	、CD レコーダー	SS-CDR250N	
	•	記録可能ディス	CD-R/RW、CD-R/RW-DA、	タスカム製	
		ク	SD/SDHC/SDXC カード、USB		
		入力	アナログ、デジタル		
		出力	アナログ、デジタル、ヘッドホン		
		再生形態	連続、シングル、リピート、プロ		
			グラム		
		コネクター		M5 アース端	1
1階おもてな	ワゴン接	ワイヤレスアンテナ用:BCJ-RU×2		子、鍵付	
しスペース映		スピーカー用:X	$LR-4-32F77\times3$	日野精機製	
像音響設備	続盤	プロジェクター月	月:NE8FDP×1		
隊日貴以帰		電源用:NAC3MPB	-1×1		
		電源制御用:XLR	2-31F77×1		
		エンクロージャ	バスレフ型	SR-S4L	2
		形式		TOA 製	
		連続プログラム	600W (8 Ω) \times 2		
		入力			
		出力音圧レベル	94db (1W, 1m)		
		周波数特性	70Hz∼20kHz		
	メインス	周波数特性 クロスオーバー	3, 500Hz		
	ヒーカー	周波数			
		指向角 指向角	水平:90°、垂直:0°(スピー		
			カーの高さの範囲内)		
		スピーカー	(10cm コーン型×8) ×2、		
			(2.5cm バランスドーム型×24)		
			$\times 2$		
L	l	I		l	l

		電源	AC100V 50/60Hz	MC-WU8601WJ	1
		表示形式	3 原色透過型液晶シャッター方	TOA 製	
			式	HDMI ツイストへ°	
		レンズ	ズーム・フォーカス・レンズ	アケーブル延長	
	液晶プロ		シフト:電動	用受信機付	
	ジェクタ	明るさ	60001m		
	_	解像度	水平 1920×垂直 1200(WXGA)		
		コンピュータ入力	デジタル×2、アナログ×1		
		ビデオ入力	RCA		
		音声信号入力	RCA、ステレオミニ×2		
		モニター出力	アナログ×1		
		電波形式	FIE/F1D	充電器付	1
	ワイヤレ	送信周波数	800MHz 帯	WM-D1200	
	スマイク	発振方式	PLL シンセサイザー方式	TOA 製	
	ハンド型	使用マイクロホン	単一指向性エレクトレットコ		
1階おもてな			ンデンサー型		
しスペース映	ロノわし	電波形式	FIE/F1D	WM-D1300	1
像音響設備	ワイヤレスマイク	送信周波数	800MHz 帯	TOA 製	
	タイピン	発振方式	PLL シンセサイザー方式		
	グイビン 型	使用マイクロホン	単一指向性バックエレクトレ		
	土		ットコンデンサー型		
		電源	DC7~12V (本体から供給)	YW-550	2
	ワイヤレ	受信周波数	800MHz 帯	TOA 製	
	スアンテ	ダイボール比相対	約+8db		
	ナ	利得			
		アッテネーター	0, -10, -20db		
		定格入力	30W (330 Ω) , 10W (1k Ω) ,	F-2321C	1
			3W $(3.3k\Omega)$ \downarrow 1W $(10k\Omega)$	TOA 製	
			120W (8Ω) , 60W (16Ω)		
	グスピー	カ			
	カー	出力音圧レベル	90db		
		周波数特性	50Hz∼20kHz		
		スピーカー	12cm コーン型		

		電 炉	AC100V F0/C0U-	IIDMI 江巨巫	1
		電源	AC100V 50/60Hz	HDMI 延長受 信機、BD、	1
		定格出力	$550W \times 4 (4\Omega) 350W \times 4$	in iൽ、 bb、	
			(8Ω) , $150W \times 4$ (4Ω) ,	上電源バイ ル組込	
			100W×4 (8Ω)	. –	
		デジタルステレス		M-864D	
		入力	モノラル×8、ステレオ×7	TOA 製	
		出力	モノラル×4、録音(L, R)		
		信号処理	自動音場補正(ARC)×4(各系統		
			独立設定)、ハウリング抑制		
			(FBS) ×8、(各系統独立設		
			定)、オートミュート (DUCKER)		
			×1(独立制御)、フィルター×8		
			(各系統独立設定) 、トーンコン		
			トローラー×10(各系統独立設		
			定)、パラメトリックイコライザ		
			$-\times 4$		
3階多目的		制御	プリセットメモリー×16(前面プ		
スペース映	ワゴンア		リセットスイッチ×4)、接点入		
像音響設備	ンプ		カ×8、接点出力×8、リモートコ		
			ントロールパネル接続可		
			10BASE-T/100BASE		
		I/F			
		デジタル入力レコ	•	DMR-MC500	
			MPEG-2(Hybrid VBR) 、MPEG-4	パナソニック製	
		式	AVC/H. 264		
		映像	映像入出力×1、HDMI 映像・音声		
			出力×1		
		音声記録方式	Dolby Digital:2ch 記録		
		音声	アナログ入出力×1、デジタル入		
			出力×1		
		入出力端子	SD メモリーカード、LAN、USB		
			(USB2.0) 、USB (USB3.0) 、RS-		
			232C		
		時計	クォーツ制御、24 時間、デジタ		
			ル表示(内臓時計制度:平均月差		
			±30 秒)		

		デジタルワイヤレスチューナー		WT-D1804
		入力	アンテナ×4、ミキシング×1	TOA 製
		出力	単独×4、ミキシング×1	
		受信周波数	800MHz 帯	
		チューナーユニ	最大4波実装(最大4波)	
		ット		
		BD/DVD プレーヤー		BDP-S6700
		記録可能メディ	BD-R/-R DL/-R XL, BD-RE/-RE	ソニー製
		ア	DL/-RE XL、DVD-R/-RW	
		再生可能メディ	BD-R/-R DL/-R XL, BD-RE/-RE	
		ア	DL/-RE XL、DVD-R/-RW/-R DL/-	
			RAM/DVD+R/+RW/+R DL	
		入出力端子	HDMI 出力、LAN 端子、USB	
		外部入力パネル		TOA 製
		コネクター	HDMI×1、D-sub15 ピン×1、ステ	
			レオミニジャック×1、RCA ピン	
3 階多目的	ワゴンア		$\times 3$	
スペース映	ンプ	トグルスイッチ		TOA 製
像音響設備	• /	コネクター	トグルスイッチ×3	
		演奏可能フォー	CD-DA、WAV、MP2、MP3	
		マット		
		CD プレイヤー/BI	luetooth レシーバー	Bluetooth3.
		出力	アナログ、デジタル、ヘッドホン	0 対応
		演奏可能ディス	CD、CD-ROM、CD-R、CD-RW	CD-200BT
		ク		TOA 製
		演奏可能フォー	CD-DA、WAV、MP2、MP3	
		マット		
		ソリッドステー	トCD レコーダー	SS-CDR250N
		記録可能ディス	CD-R/RW、CD-R/RW-DA、	タスカム製
		ク	SD/SDHC/sdxc カード、USB	
		入力	アナログ×2、デジタル	
		出力	アナログ×2、デジタル、ヘッド	
			ホン	
		再生形態	連続、シングル、リピート、プロ	
			グラム	

コネクター M5 ア	ース端 1
	野精機
	之J 作用17克
カメラ用:BCJ-RU×2 製 マイク用:XLR3-31F77×4	
マイク用: XLR3-31F77×4 ワゴン接 マイク用: XLR3-32F77×4	
続盤(1) スピーカー用: XLR4-32F77×5	
プロジェクター用: NE8FDP×2	
モニター用: NE8FDP×2	
電源用:NAC3MPB-1×1	
電源制御用: XLR2-31F77×1	[.1]
	ース端 1 mx kt kk
	野精機
カメラ用:BCJ-RU×1 製	
マイク用: XLR3-32F77×4 ワゴン接	
スピーカー用: XLR-4-32F77×6 続盤(2)	
プロジェクター用: NE8FDP×1	
モニター用: NE8FDP×1	
電源用:NAC3MPB-1×2 3 階多目的 電源制御用:VIP-2-31F77×1	
电/你們仰角・ALK 2 31177 <1	
エングロージャ バスレノ空 5K-54	
I DA 表	<u> </u>
連続プログラム 600W (8Ω) ×2	
入力	
出力音圧レベル 94db (1W, 1m)	
周波数特性 70Hz~20kHz	
メインス 指向角 水平:90°、垂直:0° (スピー カーのまたの質問力)	
カーの高さの範囲内)	
クロスオーバー 3,500Hz	
周波数	
スピーカー (10cm コーン型×8) ×2、	
(2.5cm バランスドーム型×24)	
\times_2	
電源 AC100V 50/60Hz ワイヤ	アレス 1
画面 150 インチ改(データワイド 16: スイッ	ノチ・
120 型電 10) 操作2	スイッ
動スクリ 有効画面サイズ 2585×1615 チ	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	OODW
ーン 生地 ファイバーグラス生地(防炎材 NEW-1)	20KW

		電源	AC100V 50/60Hz 1000W	プロジェク	1
	液晶プロ ジェクタ	表示形式	3 原色透過型液晶シャッター方式	ター昇降機	
				付	
				リモコン付	
				属	
		レンズ	電動ズーム(1.5倍)、電動フォ	MC-WU8601WJ	
			一カス	TOA 製	
		明るさ	60001m	(昇降機:	
			水平 1920×垂直 1200(WXGA)	共栄商事	
			デジタル×4、アナログ RGB×1	製)	
		力			
		映像入力	デジタル×4、アナログ RGB×1、		
		****	ビデオ×1		
			ステレオ入力×2、ステレオ出力		
		アーカ. 山土	×1 アナログ RGB×1		
	モニタリ ングカメ ラ		フラロク RGB×1 DC12V(AC アダプター添付)	ロノわしつ	1
3階多目的		電源 撮像素子	1/2.3型 MOS	ワイヤレス リモコン付	1
スペース映		1取隊糸丁 レンズ	1/2.3 空 MOS 電動 30 倍ズーム	AW-HE70SW9	
像音響設備		最低照度	电動 50 hm A A O . 35 l x	パナソニッ	
N I B K III			1000TV 本(中心部)	ク製	
		映像出力	HD SD1		
	液晶モニター	電源	AC100V 50/60Hz	フラットデ	1
		40 型液晶モニタ		ィスプレイ	
		最大解像度	1920×1080	用VESA	
		視野角	176°	スタンド共	
		スピーカー	30W (7.5W+7.5W+15W)	LCD-V404	
	液晶モニター	接続端子		NEC 製	
		1×1/20111 1	ジタル、アナログ、ヘッドホン、		
			PC 入力、USB 端子、LAN 端子		
			2 - 2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		
		 HDMI ツイストペアケーブル延長用受信機		HDC-RH100-D	
		入力信号	延長用デジタル信号: RJ45×1	TOA 製	
		出力信号	HDMI TypeA (19P、メス) ×1、		
			HDCP、CEC 対応		
		LAN	10BASE-T/100BASE-TX		
	I	<u> </u>		1	

		定格インピーダ	600 Q (平衡型)	トークスイ	1
	ダイナミ	. –		ッチ付	
		 指向性パターン	単一指向型	DM-1300US	
		周波数特性		TOA 製	
		た格感度レベル		TON A	
				七帝四 71.	0
		電波形式		充電器付	3
		送信周波数		WM-D1200	
	スマイク	発振方式 	PLL シンセサイザー方式	TOA 製	
	ハンド型	使用マイクロホ	単一指向性エレクトレットコンデ		
		ン	ンサー型		
	ロノムル	電波形式	FIE/F1D	WM-D1300	3
	ワイヤレ	送信周波数	800MHz 帯	TOA 製	
	スマイク	発振方式	PLL シンセサイザー方式		
3 階多目的	タイピン	使用マイクロホ	単一指向性バックエレクトレット		
スペース映	型	ン	コンデンサー型		
像音響設備		電源	DC7~12V (本体から供給)	YW-550	4
	ワイヤレ	受信周波数	800MHz 帯	TOA 製	
	スアンテ	ダイボール比相	約+8db		
	ナ	対利得			
		アッテネーター	0、-10、-20db		
			$30 \text{W} \ (330 \Omega) \ \text{, } 10 \text{W} \ (1 \text{k} \Omega) \ \text{, } 3 \text{W}$	F-2321C	8
	シーリン	, _ , _ , , ,	$(3.3k\Omega)$, $1W(10k\Omega)$	TOA 製	
	グスピー		(3) 31 1 / 1 : (231 1 /	101132	
	カー	連続プログラム	120W (8Ω) 、60W (16Ω)		
	, -	入力	12011 (0 22) (0011 (10 22)		
		八刀 出力音圧レベル	00db (1W 1m)		
	シーリン	III/J	3000 (IW, IIII)		
	グスピー	国外级性切	50H 00HH		
	カー	周波数特性	50Hz∼20kHz		
		スピーカー	12cm コーン型		